

但保証人一名ハ京都市内在住ノ本派教師又ハ相當ノ資産アル者ニシテ院長之ヲ適當ト証メタルモノニ限ル

第廿八條 生徒休學又ハ退學セント欲スル時ハ保証人連署ヲ以テ願出ツヘシ

但シ休學ノ許可ハ學年一回ニ限り其學年ヲ超ユルコトヲ得ス

第廿九條 一學年中三ヶ月以上休學ヲ願ヒ出ヅルモノハ其學年中休學ト見做ス

但退學ノ許可ヲ得タルモノニハ第三十二條第二項ニ依リ處分セズ

第三十條 一學期間三分ノ二以上休學又ハ欠席シタル者ハ其學期試験ヲ受クルコトヲ得ス

第卅一條 兵役ニ服スル爲メ退學シタルモノニシテ服役滿期後又ハ歸休後一ケ年以内ニ再入學ヲ請フトキハ原級ニ編入スルモノトス

第卅二條 左ノ各項ノ一又ハ數項ニ該當スルモノハ除名シ之ヲ師僧及保証人ニ通知ス

- 一 學力劣等若クハ疾病ノ故ヲ以テ成業ノ見込ナキ者
- 二 何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ハラズ一學年間授業日數三分ノ二以上欠席シタルモノ又正當ノ理由ナクシテ引續キ一ヶ月以上欠席シタル者
- 三 出席常ナラザル者

四 二學年ヲ經テ尙同級ニ止マル者

第六章 授業料 入學料

第卅三條 本院ハ授業料又ハ入學料ヲ徵集セズ

第七章 賞罰

第卅四條 左ノ一ニ該當スルモノハ學年ノ終リニ之ヲ褒賞ス

- 一 學年試験ニ於テ品行點八十五點以上學力九十點已上ヲ得タル者
- 一 學年試験ノ結果品行點八十五點以上ヲ得タル者
- 一 學年試験ノ結果學力點九十點以上ヲ得タル者

第卅五條 平素品行ノ修ラサルモノ及本院ノ諸規則命令ヲ遵守セザル者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ懲罰ス

- 一 譴責
- 一 禁足懺悔
- 一 停學
- 一 退學

第卅六條 所犯ノ情狀輕キモノハ之ヲ説諭シ尙ホ改メサル者ハ譴責ニ處ス

第卅七條 再三譴責ヲ受ケ尙ホ改メサル者及所犯ノ情狀重キ者ハ其犯狀ノ輕重ニ從



ヒ三日已上二週間己内ノ外出ヲ禁シ若クハ同期間内毎日放課後一時間宛院内ニ於テ懺悔セシム

第卅八條 二回以上禁足ノ罰ヲ受ケタルモノ又ハ之ヲ受ケサル者ト雖トモ所犯情狀ノ輕重ニ依リ停學又ハ退學ヲ命ス

但シ停學ハ三日以上一ヶ月以内教場ニ入ルコトヲ禁スルモノトス

第卅九條 凡テノ罰ニ處セラレタル者ハ之ヲ院内ニ揭示シ禁足已上ノ者ハ師僧又ハ保證人ニ通知シ停學已上ノ者ハ更ニ本人所轄支所及ビ宗務所ニ通知スルモノトス

第四十條 停學又ハ退學ノ處分ヲ受ケタル者ニシテ悔悟ノ情狀特ニ著シキ者ハ其處分ヲ解クコトアルベシ

但シ此場合ニハ本人所轄支所及宗務所ニ通知ス

第八章 寄宿舎

第四十一條 本派學生ハ必ズ寄宿舎ニ入ルベキモノトス

但シ特別ノ事情アルモノハ院長ノ認可ヲ得テ通學スルコトヲ得

第四十二條 寄宿舎ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第九章 職員

第四十三條 本院ニ左ノ職員ヲ置ク

院長 壹名 教授 若干名 助教授 若干名  
講師 若干名 事務員 若干名 舍監 若干名

書記 壹名

第四十四條 院長ハ院務ヲ總裁シ職員生徒ヲ統督ス

第四十五條 院長ハ職員ノ進退及其他重要ナル事件ヲ宗務所ニ具狀ス

第四十六條 院長ハ臨時ニ講師ヲ囑托シ書記ヲ任免ス

第四十七條 院長ハ必要ニ應シ職員ノ全部又ハ一部ヲ召集シテ職員會ヲ開クコトヲ得

第四十八條 教授助教授ハ學生ノ教育並ニ德性ノ涵養ヲ掌ル

但教員中ニ擔當教員ヲ置キ學生ヲ分擔シテ特ニ德性涵養ノ責ニ任ゼシムルコトアルベシ

第四十九條 教員ハ每學期豫メ受持學科ノ授業案ヲ定メテ院長ノ承認ヲ受ケ每學期ノ末ニハ各受持學科ノ進度經過ヲ院長ニ報告スベシ

第五十條 教員ハ受持學科ノ平常點ヲ定メンガ爲メニ臨時ニ試驗ヲ行フコトヲ得

第五十一條 事務員ハ院長ヲ輔佐シテ庶務及會計事務ヲ處理シ兼テ學生ノ風儀ヲ監督ス



第五十二條 事務取扱上別ニ顧問ヲ置クコトヲ得  
 但シ名譽職トシ本山執事ヲ以テ任スルコトアルベシ  
 第五十三條 舍監ハ寄宿舎規程ノ定ムル處ニ依リ事務員ヲ輔佐シテ寄宿舎内ノ事務ヲ處辨シ其安寧ヲ保維ス  
 第五十四條 書記ハ院長事務員ノ命令ヲ受ケ雜務ヲ處辨ス  
 第五十五條 本規則ニ關スル施行細則ハ別ニ之ヲ定ム

勸學院學科程度表

尋常科	第一學年	第一學年級	第二學年級	第三學年級	高等科	第一學年級	第二學年級
	宗乘	宗意安心 真言教史 論議	宗義綱要 判教要義	宗義精要		宗乘學	全
餘乘	內外典比較 戒律規則	原始佛教大綱	三乘要義	一乘學	全	全	全

參考餘科

國語	漢文	哲學大意	倫理學大意	宗教歷史
講讀作文	全	全	全	全

(入學願様式)

入院願

拙僧儀今般勸學院へ入院自他宗ノ教義修學仕度候條御許可被成下度別紙履歷書及地方管理ノ副伸相添師僧(又ハ法類)連署ヲ以テ此段上願仕候也

何府縣何支所下

何府縣郡市町村何寺住職何某法資(又住職)

年月日

教師僧階 氏 名 印

右師僧(又ハ法類住所) 氏 名 印

教師僧階 氏 名 印

新義真言宗智山勸學院長

教師僧階 氏 名 殿



前書相違無之ニ付副伸候也

何府縣何支所管理

教師僧階 氏

名 印

履歷常ノ通リ

印

參 錢

印 紙

在 學 證 書

拙僧儀今般勸學院へ入院御許可相成候ニ就テハ在院中諸規則ヲ遵奉シテ孜々勉學可仕ハ勿論成業ノ上ハ終身教義發揚ニ從事可仕候也

年 月 日

教師僧階 氏

名 印

前書某一身上ニ關シテハ在院中如何様ナル儀出來候共拙者等引受決シテ御迷惑相懸申間敷依テ此段保證仕候也  
年 月 日

現住所、本籍

保證人 氏

名 印

現住所、本籍

保證人 (師僧又ハ法類)

名 印

新義真言宗智山勸學院長

教師僧階 氏 名殿

第二 宗學所規則

第壹章 總則

第一條 本則ハ宗規第五號補則第二十條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 本所ハ私立日本中學校及ヒ私立芝中學校ヲ指定學校ト定メ入舍生ヲ通學セシメ且ツ別科ヲ設ケテ佛典ヲ教授シ以テ本派ノ法資ニ中等教育ヲ施ス

第三條 本所所管ノ學生ハ入舍生及ヒ地方中學生ノ二種トス

第二章 名稱及ヒ位置

第四條 本所ハ宗學所ト稱シ東京市芝區愛宕町一丁目眞福寺ニ置ク

第三章 修業年限、學期、學年、休業



第五條 修業年限及ヒ學期學年休業ハ凡テ指定中學校ノ規定ニ依ル

第四章 試驗

第六條 試驗ヲ分テ普通科試驗及ヒ別科試驗ノ二種トス

第七條 普通科試驗ハ凡テ指定中學校ノ校規ニ依ル

第八條 別科ハ佛典ノ學力ト操行ノ約點六十五點以上ヲ以テ卒業トシ其以下ヲ以テ落弟トス

第九條 別科ノ試驗ハ指定中學校ノ學期及ヒ學年ノ終ニ於テ之ヲ行フ

第十條 品行點ハ各學期末ニ之ヲ評定シ學年試驗ノ終ニ於テ三期ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

第十一條 品行點ハ一百點ヲ以テ滿點トス

第十二條 品行點ハ勤怠勤行素行ノ三標準ニ依テ評定ス

第十三條 病氣又ハ止ヲ得サル事故ニ依リ許可ヲ得テ一學期試驗ニ欠席シタルモノハ他ノ二學期評點平均數ノ十分ノ七ヲ與ヘテ其欠席シタル課目ノ學期試驗點トス

第十四條 別科學年ノ評點ハ前二學期得點ノ和ニ第三學期ノ得點ヲ加ヘ三除シテ之ヲ定ム

第十五條 生徒ノ座階ハ前學期試驗ノ成績ニヨリ每學期ノ始ニ之ヲ定ム

第十六條 別科試驗ハ受持講師之ヲ定ム

第十七條 指定中學校全科ヲ卒業シ且ツ別科全卒業ノモノニハ別科修業證書ヲ授與シ且ツ試補ニ具狀ス

第十八條 指定中學校並ニ別科ヲ卒業シタルモノハ勸學院尋常科三年へ無試驗ニテ入ルコトヲ得

第十九條 指定又ハ地方中學校ヲ卒業シ兼テ別科ヲ卒業シ學力操行共ニ優等ノ者ハ留學生トシテ高等學校又ハ私立大學ニ入ルコトヲ得

第五章 入舍、退舍、休學

第二十條 本所ハ指定中學校ニ入學シタルモノ及ヒ地方中學校ヨリ指定中學校ニ轉校シタルモノヲ入舍セシム

第二十一條 入舍セント欲スルモノハ師僧法類ノ連署ヲ以テ別ニ定ル書式ニ準シ願書履歷書誓約書ヲ差出スヘシ

第二十二條 疾病又ハ止ヲ得タル事故ニ依リ授業ニ堪ヘサルモノハ師僧連署ヲ以テ休學又ハ退舍ヲ願出ツヘシ

第六章 入學料及ヒ授業料

第二十三條 本所ハ指定中學校ノ入學料及ヒ授業料ヲ納メシムル外授業料及ヒ入學料



ヲ徵集セス

### 第六章 學資補給

第廿四條 本所ノ學籍ニ在ルモノ入舎シテ指定中學校ニ通學スルモノニハ毎月金四圓ヲ地方中學校ニ在ルモノニハ一ヶ月金貳圓五拾錢ヲ補給ス

但入舎生ニ在テ落第スルトキハ次ノ一學年補給ヲ停止シ地方中學生ニ在テハ落第者ニ補給セス

第廿五條 地方中學校ニ在テ補給ヲ受ント欲スルモノハ別ニ定ムル所ノ學資補助願履歷書誓約書在學證明書ヲ差出シ豫メ補給ノ許可ヲ受クヘシ

第廿六條 地方中學生ニシテ補給金ヲ受ントスルトキハ學期及ヒ學年試驗ノ成績表ヲ添ヘ學期毎ニ補給請求書ヲ差出スヘシ

### 第七章 賞罰

第廿五條 左ノ一ニ該當スルモノニハ學年試驗ノ終ニ之ヲ褒賞ス

一 學年試驗ノ結果學力八十點以上ノモノ

一 學年試驗ノ結果品行九十點以上ノモノ

第廿六條 平素操行ノ修ラサルモノ及ヒ諸規則命令等ヲ遵奉セサルモノハ左ノ項目ニ依リ之ヲ懲罰ス

一 譴責

一 補給停止

一 退舎

第廿七條 所犯ノ情狀輕キモノハ之ヲ説諭シ尙ホ改メサルモノハ遣責ニ處ス

第廿八條 登校一ヶ月以上怠リ及ヒ起床臥床ノ規律ヲ紊リ參佛勤行一ヶ月以上怠ルモノハ補給ヲ停止ス

但疾病又ハ止ヲ得サル事故ニ依リ休學ノ許可ヲ受ケタルモノハ此限りニアラス

第廿九條 二回以上補給停止ヲ受ケタルモノ又ハ本所ノ体面ヲ汚損スル行爲アルモノ及ヒ指定學校ノ退校ヲ命セラレタルモノハ退舎ヲ命ス

第三十條 補給停止ハ一ヶ月以上一學期以内トシ退舎ハ處分ヲ受ケタル月ヨリ一ケ年后改心ヲ認メタル場合ニアラサレハ入舎ヲ許サス

第卅一條 凡テ罰ニ處シタルトキハ之ヲ院内ニ揭示シ補給停止ハ師僧又ハ保証人ニ通知シ退舎ノ者ハ本人ノ所割支所及宗務所へ通知スルモノトス

### 第八章 寄宿舎

第卅二條 本所入學生ハ必ス寄宿舎ニ入ルヘキモノトス

第卅三條 寄宿舎ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム



第九章 職員

第卅四條 本所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長 一名 事務員 一名 講師 一名

第卅五條 所長ハ宗務長ヲ以テ之ニ任シ所長ハ所務ヲ總裁シ職員及ヒ生徒ヲ統監ス

但シ名譽職トス

第卅六條 所長ハ職員ノ進退及ヒ重要事件ヲ管長ニ具狀ス

第卅七條 所長ハ必要ニ應ジ職員ヲ召集シテ職員會ヲ開クコトヲ得

第卅八條 講師バ別科ノ教授並ニ徳性ノ涵養ヲ掌ル

第卅九條 事務員ハ舍監ヲ兼テ庶務及會計ヲ處理シ兼テ學生ノ風儀ヲ監督ス

第四拾條 事務員ハ入舍生ノ學資ヲ保管シ生徒ノ申出ニ依リ必要ト認ムルトキハ之

ヲ相渡シ且ツ濫費ナカラシム

第四十一條 生徒ノ内ヨリ寮長一名ヲ撰拔シ上舍監ノ命ヲ傳達シ下生徒ヲ代表シ豫

テ舍寮ノ肅清ヲ保タシム

第四十二條 事務員執務細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十章 生徒心得

第四十三條 舍生ハ指定學校ノ諸規則命令等ヲ遵奉スルハ勿論常ニ左ノ事項ヲ服膺

スヘシ

一 佛祖ヲ欽仰シ信念ノ修養ヲスルコト

一 師長ニ敬事シ規律ヲ確守スルコト

一 進取ニ勇ニシテ氣品ヲ重ニスルコト

一 節儉ヲ旨トシテ奢移ニ流レサルコト

一 親睦ヲ重シテ朋黨ヲ爲サ、ルコト

一 操守ヲ貴ヒ輕佻ニ陥ラサルコト

一 學業ヲ勵ミ体旨ヲ忘レサルコト

第四十四條 舍内ニ在テハ常ニ舍監ノ命令ニ從ヒ且ツ寮長ニ從フヘシ

第四十五條 疾病又ハ不得止事故アリテ授業ニ欠席セントスルトキハ豫メ舍監ニ届

出ツヘシ

第四十六條 室内ト室外トヲ問ハス凡テ上班ノ者及ヒ長上ノ者ニ對シテハ敬禮ヲ失

ブヘカラス

第四十七條 舍内ニ掲示セント欲スルモノハ舍監ノ許可ヲ得ルヲ要ス

第四十八條 舍内備付ノ物品庭園ノ樹木又ハ牆壁等ヲ毀損又ハ汚損シタルトキハ其

過失ト故意トヲ問ハス相當ノ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシム



第四十九條 新聞又ハ學術雜誌ノ外稗史小説等ハ凡テ持讀スヘカラス  
 第五十條 舍生ハ前各條ニ定ムル規定ノ外寄宿舍細則ニ規定スル禁條ヲ確守スルハ  
 勿論凡テ學生ノ守ルヘキ事項ヲ注意シテ其舉動ヲ慎シムヘシ  
 己上

宗學所別科程度表

第一年	第二年	第三年	第四年	第五年
佛教大意	真言綱要	前年	真言哲學	前年
佛教畧史	諸宗大意	の續き	佛教々理史	前年
佛教戒律	佛教倫理	の續き	密教歴史	の續き
聲明	聲明	聲明	聲明	聲明

用紙美濃紙

學資補助願

何府縣何支所下

何府縣郡市町村大字何寺住職何某法資

氏名

右本人

何

名<sup>印</sup>

右師僧

氏

名<sup>印</sup>

新義真言宗智山派

宗務長宛

(支所奥書ヲ要ス)

參錢印

誓約証 (用紙美濃紙)

拙僧儀何々中學校在學致居候ニ付今般學資補助御許可相成候ニ付テハ御規則命令等  
 堅ク遵守可仕萬一規則ニ違背シ中途退學又ハ不都合ノ行爲有之候節ハ學資ノ辨償ハ  
 勿論本人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ保証人ニ於テ引受可申候仍テ誓約証差上候也



年月日

右本人

何

某 印

右師僧

何府縣郡市町村何寺住職

氏

名 印

右法類

何府縣郡市町村何寺住職

氏

名 印

新義真言宗智山派

宗務長宛

(支所奥書ヲ要ス)

智山派宗學所ニ入舍希望ノ人ハ左ノ書面ヲ差出スベシ

入舍並ニ學資補助願 (用紙美濃紙)

何府縣何支所下

何府縣郡市町村何寺住職姓名法資

氏

名

拙僧儀今般中學校へ入學致度候間宗學所へ入舍并ニ學資補助御許可被成下度誓証約并ニ履歷書相添此段連署ヲ以テ上願仕候也

右本人

氏

名 印

右師僧

何府縣郡市町村何寺住職

氏

名 印

新義真言宗智山派

宗務所宛

(支所奥書ヲ要ス)

印

印紙

誓約証

(用紙美濃紙)

拙僧儀今般宗學所ニ入舍并學資補助御許可相成候ニ付テハ御規則命令等堅ク遵守可仕萬一規則ニ違背シ中途退學又ハ不都合ノ行爲有之候節ハ學資ノ辨償ハ勿論本人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ保証人ニ於テ引受可申候仍テ誓約証差上候也



年一月日

右 本人  
右 師 僧  
何府縣郡市町村何寺住職  
名 印

保証人 教師僧階 氏  
名 印

右 法 類

何府縣郡市町村何寺住職

保証人 教師僧階 氏  
名 印

新義真言宗智山派

宗 務 長 宛 (支所奥書ヲ要ス)

第三 留學生規則

第一條 留學生ハ宗務長ニ於テ宗門上須要ノ學術ヲ研究セシメンカ爲中學校勸學院各卒業ノ者若クハ之ト相當セル學力ヲ有スル者ヲ撰拔シ所修ノ學科ヲ指定シ留學ヲ命スルモノトス  
第二條 留學生ノ期限ハ一定ノ修業年限アルモノヲ除キ滿二ケ年トス

但學科ノ難易ニ依リ紳縮スルコトヲ得

第三條 留學生ハ品行方正身體健全ニシテ指定セラレタル年限中修學シ得ヘキ者ニ限ル

第四條 留學生ニハ其留學スヘキ地ノ實況ヲ商量シ別表ニ依リ學資ヲ支給ス

第五條 留學生タラント欲スル者ハ第一號書式乃至第四號ノ願書履歷書及誓約書ヲ

調製シ所管宗務支所ヲ經由シ宗務所ヘ提出スヘシ

第六條 保証人ノ内死亡其他保証人ニ適セサル事故生シタル者ハ更ニ保証人ヲ立ツベシ

第七條 留學生ハ宗務所ノ許可ヲ得スシテ指定セラレタル學科又ハ土地ヲ變更スルコトヲ得ス

第八條 留學生ハ所修ノ學科卒業後又ハ留學期限後ハ四ケ年以上指定セラレタル宗門ノ職務ニ從事スル義務ヲ有ス

第九條 留學生ハ品行不良又ハ學業怠惰若クハ留學生規則及命令ニ違背シタルトキハ留學ヲ解除シ其支給シタル學資ハ本人又ハ保証人ヨリ一時ニ返納スシム

第十條 留學生ハ留學中病氣其他避クヘカラサル事故之アルトキハ休學又ハ退學ヲ許可スルコトアルベシ



休學ハ滿壹ケ年ヲ越ユルコトヲ得ス  
休學期間ハ學資ノ支給ヲ停止ス

(別表) 學資支給表

	年額	月額
帝國大學在學者	百五十六圓	十三圓
高等學校在學者	百貳拾圓	十圓
他宗其他學校在學者	九拾六圓	八圓
外國留學者		

第一號書式

留學願 (用紙義濃紙)

何府縣何支所下

何府縣郡市町村何寺院住職(又ハ何誰法資)

氏名

拙僧儀何々留學生志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ本派教學ニ從事可仕候仍テ履歷書相添ヘ保證人連署此段奉願候也

年月日

本人 氏名 (印)

保證人 (保證人一名ハ父兄親族一家ヲ爲シ身元確實ナル者ヲ要ス)

府縣郡市町村番地(寄留) 氏名 (印)

同師僧(又ハ法類)(一寺住職以上ノ者ヲ要ス) 氏名 (印)

同

教師僧階 氏名 (印)

新義真言宗智山派

宗務長 氏名 殿

前書ノ趣調査候處相違無之候也

府縣何宗務支所管理

年月日

教師僧階 氏名 (印)



第二號書式

履歷書 常ノ通リ

第三號書式

印紙

證

拙僧儀留學生ヲ命セラレ候ニ就テハ留學生規則及其他命令ヲ遵守シ萬一同規則ニ違背シ又ハ不都合ノ行爲有之學資ノ償還ヲ令セラレタル場合ハ本人又ハ保證人ユ於テ速カニ悉皆償還可仕候也

年月日

何府縣郡市町村何寺住職(又ハ法資)

本人

名 印

何府縣郡市町村何番地(父兄親戚身元確  
實ナル者ヲ要ス)

保證人

名 印

何府縣郡市町村何寺住職師僧(又ハ法類)

同 教師僧階 氏

名 印

新義真言宗智山派宗務長

氏 名 殿

第四號書式

印紙

誓約証

拙僧儀今般何々留學生御許可相成候ニ就テハ本派留學生規則及敎示命令等ハ堅ク遵守可仕ハ勿論且成業ノ上ハ御所ノ命令ニ從ヒ本派ノ公務ニ從事シ屹度布敎興學ノ本分ヲ盡シ可申候仍テ誓約証差上候也

肩書同上

年月日

本人 氏

名 印

同

保證人 氏

名 印

同







傳法灌頂及大曼荼羅供修行ハ管長ノ臨鑒ヲ請フヘキ件

明治三拾四年拾月五日乙第三號達

本派ノ寺院ニ於テ傳法灌頂及大曼荼羅供等ノ大法會ヲ修行セントスルトキハ管長ノ臨鑒證明ヲ請フ儀ト心得ベシ

但兩大會已講ノ者ニシテ權少僧正以上ノ教師ニ代理ヲ命セラル、コトアルヘシ

特別保護建造物及國寶監守方注意ニ關スル件

明治三拾五年三月拾七日甲第壹號達

古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セラレタル物件監守方ニ關シ別記ノ通り内務省宗務局長ヨリ通知ノ次第モ有之候條該物件ヲ有スル寺院住職ハ平素嚴重ニ保護シ亡失毀損セシメサル様監守方深ク注意スヘシ若シ怠慢ニヨリ該物件ヲ亡失毀損セシメタルニ於テハ管理者タル住職ハ宗規ニ照シ相當ノ懲誠ニ處セラルヘシ

(參考)明治三十五年三月十四日内務省宗甲第四號達ノ内

明治三十年法律第四十九號古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セル物件ノ監守方ニ關シ別紙ノ通り地方官へ通牒相成候ニ付其宗派ニ於テ該物件ヲ有スル

寺院ニ對シ相當注意相成度命ニ依リ此段申進候也

(別紙)明治參拾五年三月拾四日内務省宗甲第四號達

明治參拾年法律第四拾九號古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セル物件ハ同法ノ規定ニ依リ神職若クハ住職ニ於テ之ヲ監守スヘキモノナリ而シテ監守者ノ怠慢ニ由リ該物件ヲ亡失毀損セシメタルトキハ神職住職ハ其神社寺院ノ管理者トシテ其責ヲ免カレサルハ勿論同法ニ依リテ處罰セラルヘキカ故ニ監守者ハ平素之ヲ監守スルニ就キ相當注意ヲ怠ラサルヘシト雖トモ該法發布以來漸ク年ヲ重ヌルニ從ヒ自然監守ヲ疎略ニスルモノナキヲ保シ難シ此ノ如ニシテ若シ該物件ヲ亡失毀損スルカ如キコトアリテハ監守者ノ責任如何ニ關セス其神社寺院ニ在テハ傳來ノ由緒面目ヲ失フノミナラス皇國ノ歴史美術ノ資料ヲ減損スルニ至リ不都合ノ儀ニ候條豫メ特別保護建造物及國寶ヲ有スル神社寺院ニ訓示シ監守上遺憾ナキ様特ニ注意警戒セシメラレ度命ニ依リ此段申進候也

明治三十八年十月二日番外

明治三十五年七月十二日協定ニ係ル公稱寺院協定規約書ハ關係各派管長ノ合議ニヨリ更ニ滿三ヶ年間繼續ス

明治三十九年三月廿四日甲第七號



住職進退ノ申請ニ付テハ檀信徒總代ノ連署ヲ要セスト雖トモ關係者不行届ノ爲ノ他日寺檀ノ間ニ紛議ヲ生スル如キコトアリテハ自然寺門ノ不利ナルノミナラス僧侶ノ威信ニ關シ大ニ不都合ニ候條深ク留意致スヘシ

根來山大傳法院寺法

根來山大傳法院ハ興教大師唱寂ノ靈地ニシテ新義真言宗智山派同豊山派ニ屬スル寺院ナルヲ以テ茲ニ智豊兩派管長商議ノ上祖山ノ慣例ニ基キ時運ニ鑑ミ左ノ六章十二條ヲ協定シ以テ根來山大傳法院ノ寺法ト爲ス

第一章 總則

第一條 根來山大傳法院ハ大本山ト稱シ新義真言宗智山派全豊山派ノ兩派ニ於テ共同維持スベキモノトス

第二章 住職

第二條 大傳法院ニハ專任住職ヲ置カス智豊兩山管長各滿二ケ年宛輪次交替ニテ兼務スルモノトス

第三條 大傳法院住職ハ古規ニ依リ座主ト稱ス

第三章 末寺

第四條 大傳法院ノ末寺々院ハ別表ノ如ク智豊兩派ニ分屬シ各派ノ宗制寺法ニ依リ之ヲ統理ス

但大傳法院ト其末寺トハ智豊兩派カ宗制寺法ニ依リ各派内ニ於テ末寺ヲ有スル寺院其末寺トノ間ニ有セシメタル權義ハ同一ノ權義ヲ有セシム

第四章 執事

第五條 大傳法院ニ執事二名ヲ置キ座主ヲ補佐シテ大傳法院ノ事務ヲ處辨セシメ其任期ハ滿二ケ年トス

但再任ヲ妨ケズ

第六條 執事ノ内壹名ハ智山派管長ニ於テ壹名ハ豊山派管長ニ於テ各其派内權中僧都以上ノ者ノ中ヨリ薦舉シ座主ノ名義ヲ以テ之ヲ任命ス

第七條 智山派管長座主タル間ハ豊山派管長薦舉ノ執事主任トナリ豊山派管長座主タル間ハ智山派管長薦舉ノ執事主任トナリ事務ヲ擔當スルモノトス

第八條 智山派管長薦舉ノ執事ハ其執事タル間山内律乘院ニ住職又ハ兼務住職豊山派管長薦舉ノ執事ハ其執事タル間同蓮花院住職又ハ兼務住職ニ就職スルコトヲ得

第九條 執事ニ於テ不都合ノ行爲之アルトキハ各其薦舉ノ區分ニ依リ所屬宗派ノ懲罰條例ニ照シ之ヲ處分ス



第五章 會計

第十條 大傳法院ノ經費ハ歲計豫算ヲ以テ座主之ヲ定メ智豐兩派管長ノ承認ヲ經ヘキモノトス

第十一條 大傳法院ノ基金ノ保管法及會計ニ關スル細則ハ座主之ヲ定メ智豐兩派管長ノ認可ヲ經ベキモノトス

第六章 補則

第拾貳條 本寺法實施ニ付必要ナル細則ハ座主ニ於テ之ヲ定メ智豐兩派管長ノ認可ヲ經テ行フヘキモノトス

真言宗各派所属寺院協定書

一 本協定書ニ公稱寺院ト稱スルハ真言宗各宗派總本山乃至准別格本山ノ直末以下ノ寺院ニシテ新義真言宗智山派又ハ豊山派ヲ公稱スル寺院ヲ便宜上略稱ス

智山派又ハ豊山派ヲ公稱スルハ新義ノ教相ニ基キ本末ノ關係ハ事相ノ法流ニ依ル

一 本協定書ニ真言宗各宗派ト稱スルハ真言宗及全御室派全高野派全大覺寺派ノ一宗三派ヲ便宜上略稱ス

一 本協定書ニ單ニ智山派又ハ豊山派ト稱スルハ新義真言宗智山派ト新義真言宗豊

山派ト便宜上略稱ス

第一條 真言宗各宗派總本山大本山正准別格本山ノ直末以下ノ寺院ニシテ新義真言宗智山派又ハ同豊山派ヲ公稱スル寺院ノ住職ハ明治參拾貳年拾月拾貳日附ヲ以テ各大本山住職間ニ於テ締結セシ盟約ニ依リ真言宗各宗派管長之レカ任免ヲ爲スモノトス

第二條 前條ノ公稱寺院ニ住職ヲ任免セントスル時ハ新義真言宗智山派公稱ノ寺院ハ智山派管長同豊山派公稱寺院ハ豊山派管長ノ檢知ヲ經ルモノトス檢知ヲ經サルモノハ其理由ノ如何ニ拘ラス之ガ住職ヲ任免スル事ヲ得ス

第三條 前條ノ住職任免ニ關シ其寺院關與人ヨリ粉擾ヲ生シタル時ハ檢知ヲ爲シタル當該管長之ヲ處斷ス

第四條 住職任免及ヒ知ノ手續ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 特命住職ニ關スル手續ハ第二條及第三條ヲ準用ス

第六條 住職任免後直ニ本寺ノ繼目法流印可ヲ稟承スヘキモノトス但シ六箇月ヲ經過スルヲ得ス

第七條 公稱寺院ノ住職又ハ徒弟ノ教師進退ハ智山派公稱寺院ハ智山派管長豊山派公稱寺院ハ豊山派管長之ヲ行フ



但シ懲戒處分ニ依リ教師降級又ハ褫奪シ住職資格ニ異動ヲ生スル場合ハ其理由ヲ具シ真言宗各宗派關係管長ノ承認ヲ要ス

第八條 懲戒處分ニ依リ住職停職又ハ住職罷免セントスル場合ハ其理由ヲ具シ智山派公稱寺院住職ハ智山派管長豊山派公稱寺院住職ハ豊山派管長ノ承認ヲ要ス

第九條 色衣被着ノ允可ハ智山派公稱寺院住職ハ智派山管長豊山派公稱寺院住職ハ豊山派管長之ヲ專行ス

第十條 官衙公廳ニ提出ノ諸願ニ對スル副仲ハ智山派公稱寺院ハ智山派管長豊山派公稱寺院ハ豊山派管長ノ署名ヲ以テ之ヲ行フ

但シ本寺連署ノ外其本寺ノ屬スル總大本山住職ヨリモ之カ副仲ヲ爲スモノトス  
第十一條 公稱寺院ニ賦課スル宗費ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ徵集ス

一 智山派又ハ豊山派ノ教學費事務費其他ノ宗費ハ智山派又ハ豊山派ノ定ムル宗規ニ依リ各其派ニ於テ之ヲ徵集スルモノトス

二 真言宗各宗派ノ事務費ハ一箇寺金二十錢ノ程度ヲ以テ之ヲ徵集スルモノトス

三 真言宗各宗派ノ事務費ハ都合ニ依リ智山派又ハ豊山派ニ其徵集ヲ囑托スル事ヲ得

第十二條 公稱寺院ノ寺格昇降ハ談林格ヲ除クノ外真言宗各宗派管長ニ於テ之ヲ允可ス

但シ本條ノ場合ニ於テハ智山派又ハ豊山派其派關係管長ノ承認ヲ經ルヲ要ス  
第十三條 公稱寺院ノ内談林格及寺院等級ノ昇降ハ智山派公稱寺院ハ智山派管長豊山派公稱寺院ハ豊山派管長之ヲ專行ス

第十四條 公稱寺院ノ住職任命及寺格昇降ノ禮祿ハ真言宗各宗派管長ニ於テ之ヲ定ム

但シ禮祿ノ額位ハ公稱寺院ノ所屬管長ト協議ノ上別ニ一定ノ方法ヲ定ム

第十五條 真言宗各宗派及智山派又ハ豊山派ノ教師ニシテ轉派ヲ願出ル者ハ其所屬宗派管長ノ承認ヲ要ス 轉派許可ノ上ハ元ト教師ニ相當スル教師ニ補スルモノトス

第十六條 本規約ニ基キ公稱寺院取扱法ヲ編成シ主務大臣ノ認可ヲ得タル日ヨリ滿三箇年ヲ以テ本規約ノ時効期間トス

第十七條 本規約時効滿了以前少ナクモ二箇月以内ニ關係管長ノ協商會ヲ開設ス 此場合ニ於テハ便宜上關係宗派各別ニ協商會ヲ開設スルモ妨ケズ

第十八條 前條ノ場合ニ於テ協商會成立セズシテ散會シタル時其散會シタル日ヨリ



記算シ更ニ參箇月以内ニ協商會ヲ開設シ之ヲ確定ス

但シ此場合ニ於テ時効滿了ストモ本條ノ協商會成立ニ至ル迄本規約ハ有効トス

第十九條 時効期間中タリトモ本規約ノ改正及追加其他必要ノ場合生シタル時ハ更ニ協商會ヲ開設スル事ヲ得

補則

第二十條 明治參拾貳年拾月拾貳日附締結セル盟約及附帶契約ハ本協定ノ條項ニ牴觸セサル條項ハ總テ有効トス

第廿一條 本協定書ハ六通ヲ作製シ各關係管長署名捺印ノ上眞言宗及同御室派同高野派同大覺寺派新義眞言宗智山派同豊山派ニ各壹通交換シ置クモノナリ  
明治參拾五年七月拾貳日

眞言宗高野派管長

一等教師 大僧正 原 心猛

同 御室派管長

一等教師 大僧正 泉 智等

同 大覺寺派管長

一等教師 大僧正 高幢 龍暢

代 泉 智等

眞言宗管長

一等教師 大僧正 長 宥匡

新義眞言宗智山派管長

大僧正 瑜伽 教如

同 豊山派管長

大僧正 權田 雷斧

因ニ明治三拾二年拾月各本山住職間ニ締結セル盟約書并ニ附帶契約書參照ノ爲左ニ掲載ス

盟約書

今回各大本山各立ノ目的ヲ以テ古義諸大本山末ニシテ新義派公稱寺院ニ係ル取扱方法ヲ約スル左ノ如シ

第一條 古義諸大本山ノ末寺及門徒等ニ至ルマテ總テ古義其大本山ニ於テ住職ノ任免ヲ專行スルモノトス

但シ住職ニ任スル場合ニハ必ス其關係談林ノ副伸ヲ要スルモノトス



第二條 古義諸大本山ノ末寺及門徒寺ニ至ルマテ新義其大本山ニ於テ教師ノ任免ヲ專行スルモノトス

第三條 事務課金ハ古義其大本山ニ於テ徵集シ學費ハ新義其大本山ニ於テ徵集スルモノトス

但事務費ハ事情ヲ酌量シ負擔ノ重キヲ成サ、ルヲ旨トシ双方共末寺一般ニ課スルノ半額ヲ課シ時宜ニ依リ徵集ヲ其能屬本山ニ依頼スル事アルベシ

第四條 新義派公稱ノ談林等ノ末寺ニシテ古義ノ寺院アル向ハ古義其大本山ニ於テ該寺院ノ住職并ニ教師共任免ヲ專行スルハ勿論教學事務費共其大本山ヨリ之ヲ課スルモノトス

第五條 古義各大本山ノ末寺住職ニシテ色衣被着ヲ請フモノアルトキハ新義派能屬本山ノ證明書ナキモノハ之ヲ允可セズ

但シ進學衆ニシテ許可ヲ得シモノハ其取扱從前ノ例ニ依ル

第六條 談林ノ昇降ハ新義能屬本山ニ於テ之ヲ允可シ其他ノ寺格昇降ハ古義其本山ニ於テ之ヲ允可ス

第七條 各大本山及別格本山中其離加末ノ協議アルトキハ他ヨリ故障ヲナサ、ルモノトス

第八條 前條ノ外時勢ノ變遷ニ依リ異動ヲ生シ又ハ互ニ不便ヲ感スルトキハ双方協議ヲ遂グ盟約ヲ改正シ或ハ條目ヲ追加スルモノトス

第九條 第壹條ニ掲クル寺院ハ此際智豐兩大本山ニ於テ部屬ヲ定メ古義諸大本山ニ於テ之ヲ承認ス

右九箇條ハ今回各山共委員ヲ選出シ之ヲ協定セシメ茲ニ各本山々主協定ノ條目何レモ至當ナルモノト相認メ各記名調印シ之ヲ交換シ後日ノ龜鑑トス

金剛峰寺座主大僧正原心猛代理

- 醍醐寺座主 權大僧正 寺島 眞應
- 隨心院門跡 權大僧正 和田 智滿
- 泉涌寺長老 大僧正 鼎 龍曉
- 仁和寺門跡 權大僧正 釋 雲照
- 大覺寺門跡 權大僧正 高幢 龍暢
- 智積院化主 權大僧正 瑜伽 教如
- 長谷寺化主 權大僧正 慶雲 海量
- 教王護國寺別當 中僧正 照岡 高淳

明治卅二年十月十二日



- 明治三十二年十月十二日各大本山ノ交換セシ盟約ニ附帶スル契約左ノ如シ
- 一 主務大臣ノ允可ヲ得テ各大本山獨立シ以テ別ニ管長ヲ置クモ新義公稱ノ古義末寺院ハ古規ヲ踏襲シ智山派又ハ豊山派ト稱シ其派ノ宗制寺法ヲ遵守スルモノトス
  - 二 但宗制寺法制定ノ場合ニ古義本山末寺ニ對スル制度ハ双方協商ノ上之ヲ定ム前條ノ如ク各大本山ニ於テ獨立ノ允可ヲ得テ宗制寺法ヲ發布スルモ本盟約ニ牴觸スル條項ハ總テ無効トス
  - 三 古義末寺ニシテ新義派公稱ノ寺院ハ智豊兩山交衆ノ僧侶ニアラサレハ住職スルコトヲ得ス
  - 四 本月十二日附本盟約書第六條ニ左ノ但書ヲ脱漏セシニ依リ茲ニ之ヲ追廻ス但シ智豊兩大本山ノ證明ヲ要ス
  - 五 新義派智豊兩大本山派號ヲ改ムルモ本盟約書ニ異動ナキモノトス
- 右附帶ノ契約如件

明治三十二年十月十二日

高野山委員 中僧正 謙田 觀應  
西京各大本山委員 權少僧正 森岡 壽算

全

權少僧正 泉 秀明  
智山委員 少僧正 濱田 法尊  
全 大僧都 青木 宥如  
豊山委員 權少僧正 尾川 照圓  
全 權大僧都 澤田 秀元  
交渉委員  
醍醐寺塔頭金剛王院兼住職  
權少僧正 宮寺 普學  
全 醍醐寺執事  
大僧都 平之 亮禪

真言宗各派關係寺院取扱法及細則

第一章 總則

- 第一條 本法ハ真言宗々典第八拾四條同高野派宗制第八拾三條同御室派同大覺寺派宗制第八拾二條智山派及豊山派宗憲第八拾九條ニ依リ之ヲ定ム
- 第二條 本法ニ公稱寺院ト稱スルハ真言宗各宗派總本山乃至准別格本山ノ直末已下



寺院ニシテ新義真言宗智山派又ハ同豊山派ヲ公稱スル寺院ヲ略稱ス  
 智山派又ハ豊山派ヲ公稱スルハ新義ノ教相ニ基キ本末ノ關係ハ事相ノ法流ニ依ル  
 第三條 本法ニ真言宗各宗派ト稱スルハ真言宗同御室派同高野派同大覺寺派ヲ略稱  
 ス  
 第四條 本法ニ單ニ智山派又ハ豊山派ト稱スルハ新義真言宗智山派同豊山派ヲ略稱  
 ス

第二章 住職及檢知

第五條 真言宗各宗派寺院ノ末寺ニシテ智山派又ハ豊山派ヲ公稱スル寺院ノ住職ハ  
 真言宗各宗派其關係管長之レカ任免ヲ行フモノトス  
 第六條 前條住職任免ノ場合ニ於テハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派管長之カ  
 檢知ヲ爲スモノトス  
 檢知ヲ經サルモノハ住職ヲ任免スルコトヲ得ス  
 第七條 住職任免ヨリ生スル爭議ハ檢知ヲ爲シタル其派管長ト協議ヲ以テ裁定ス  
 但主務官廳ノ命令又ハ處分ニ依ル場合ハ此ノ限りニ非ス  
 第八條 真言宗各宗派其關係管長ニ於テ懲罰條例ニ依リ公稱寺院住職ノ停職又ハ住  
 職罷免セントスル時ハ事由ヲ具シ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派管長ノ承認

ヲ要ス

前項懲罰ニ該當スルモノアルトキハ智山派又ハ豊山派管長ハ其處分ヲ真言宗各宗  
 派其關係管長ニ請求スルコトヲ得  
 第九條 公稱寺院ニシテ住職ヲ選定セス寺院ノ興廢ニ關スルトキハ智山派又ハ豊山  
 派管長ハ住職任命ヲ真言宗各宗派其關係管長ニ請求スルコトヲ得  
 第十條 公稱寺院ノ住職タルヘキ者ハ左ノ標準ニ從ヒ寺格ト寺院等級トニ合致スル  
 教師ニ限ル其寺格ト寺院等級ト一致セサルトキハ寺格ト寺院等級トヲ比較シ其高  
 キ方ノ寺格若クハ寺院等級ニ相當スル教師ニ限ル

寺院等級	特等一等ヨリ同四等ヨリ リ三等迄	同五等ヨリ リ五等迄	等第一等ヨリ リ五等迄	同六等ヨリ リ七迄	同八等ヨリ リ十等迄	同十一等ヨリ リ十二等迄	同十三等ヨリ リ十五等迄	同十六等ヨリ リ廿等迄	同廿一等ヨリ リ廿五等迄	其以下
寺格	別格本山	准別格本山	常法談林	談林	准談林格	院	平格院	末	寺門	徒
教師等級	權中僧 正以上	權少僧正又 ハ少僧正以	權大僧都又 ハ大僧都以	中僧都	權中僧	少僧都	權少僧都	權律師	教師試補	以上

但シ左表中教師等級トアルハ豊山派ニアツテハ僧階等級ヲ用ユルモノトス

第三章 法流印可

第十一條 住職任命後直ニ本寺ノ法流印可ヲ稟承スヘキモノトス



但シ事故アルモ六箇月ヲ經過スルコトヲ得ス

第四章 教師

第十二條 公稱寺院ノ住職又ハ徒弟ノ教師進退ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派管長之ヲ行フ

第十三條 智山派又ハ豊山派管長ニ於テ公稱寺院ノ住職ニ對シ懲戒條例ニ依リ降級又ハ教師褫奪ノ處分ニ附セントスル時住職ノ資格ニ異動ヲ生ズル場合ハ事由ヲ具シ眞言宗各宗派其關係管長ノ承認ヲ要ス

第五章 色衣允可

第十四條 公稱寺院住職ノ色衣被着ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派管長之ヲ允可ス

第六章 寺格及寺院等級

第十五條 公稱寺院ノ寺格昇降ハ眞言宗各宗派其關係管長之ヲ允可ス  
但シ智山派又ハ豊山派管長ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第十六條 公稱寺院談林格及寺院等級ノ昇降ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派管長之ヲ允可ス

第十七條 公稱寺院ノ寺格並ニ昇格禮祿ノ額ハ左ノ如ク之ヲ定ム

別格本山	金百五十圓
准別格本山	金百圓
常法談林	金七拾圓
談林	金五拾圓
准談林	金四拾圓
格院	金參拾圓
平格院	金貳拾圓
末寺	金貳拾圓
一色	金拾五圓

第七章 副伸

第十八條 公稱寺院ノ官衙公稱ニ對スル願書ノ副伸ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派管長之ヲ爲ス  
但シ本寺連署ノ外總本山又ハ大本山住職ヨリモ副伸ヲ爲スモノトシ其副伸具備スルニ非レハ管長ハ副伸ヲ爲サ、ルモノトス

第八章 宗費並禮祿

第十九條 公稱寺院ニ賦課スル宗費ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ徵集ス







智山派又ハ豊山派ノ僧侶ニシテ真言宗各宗派ニ轉派ヲ出願スルモノハ其所屬宗派  
管長ノ承認ヲ要スルモノトス  
以 上

真言宗各派關係寺院取扱法細則

第一條 公稱寺院住職ノ資格ハ智山派又ハ豊山派ノ宗規ニ依リ之レガ任命ノ手續ハ  
真言宗各宗派ノ宗規ニ依ルモノトス

第二條 公稱寺院ノ住職任免及寺格昇降ノ願書ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山  
派ノ宗務所ヲ經テ之レヲ真言宗各宗派其關係宗務所へ差出スモノトス

第三條 公稱寺院住職任免ノ辭令及寺格昇降ノ許狀ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ  
豊山派宗務所へ交附スルモノトス

智山派又ハ豊山派宗務所ハ各其派宗務支所ヲ經テ之ヲ其寺院住職へ交附スルモノ  
トス

第四條 公稱寺院住職ヨリ其本山へ納ムル繼目禮祿ハ左ノ如ク之ヲ定ム

別格本山	特等壹等	金 參拾圓
	同 二等	金 貳拾八圓
	同 三等	金 貳拾六圓

准別格本山	特等四等	金 貳拾四圓
	特等五等	金 貳拾貳圓
常法談林	等地壹等	金 拾五圓
	同 二等	金 拾四圓
	同 三等	金 拾參圓
	同 四等	金 拾貳圓
	同 五等	金 拾壹圓
談林	等地六等	金 拾圓
	同 七等	金 九圓
准談林	等地八等	金 八圓五拾錢
	同 九等	金 八圓
	同 十等	金 七圓五拾錢
格院	等地十一等	金 七圓
	同 十二等	金 六圓五拾錢



平格院	等地十三等 金六圓
	同 十四等 金五圓五拾錢
	同 十五等 金五圓
	等地十六等 金四圓
	同 十七等 金三圓
	同 十八等 金貳圓
	同 十九等 金壹圓
	同 二十等 金七十五錢
	等地二十一等 金五拾錢
	同 二十二等 金五拾錢
	同 二十三等 金五拾錢
	同 二十四等 金五拾錢
	同 二十五等 金五拾錢

但シ末寺格ニシテ等級二拾一等以下ニ該當スル寺院ハ末寺等級ノ内最下級(二十等)ノ禮祿又末寺格ニシテ十五等已上ノ等級ナルモ十六等ノ禮祿ヲ納付スヘキモノトス平格院以上ノ寺院ニシテ其寺格ト等級ト相一致セサルモノ、取

扱亦之ニ準例ス

第五條 公稱寺院住職ノ本寺繼目禮祿ハ住職補任禮祿ト同時ニ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派宗務所ヲ經テ眞言宗各宗派關係宗務所ヘ納付スルモノトス  
但シ末寺ヨリ直ニ本寺ヘ繼目禮祿ヲ納ムルヲ便宜トスルモノハ此限リニ非ズ

第六條 住職任命後止ヲ得サル事故アリ六ヶ月以内ニ於テ其本寺ノ法流印可ヲ稟承スルコト能ハザルモノハ其事由ヲ具シ延期出願許可ヲ得ヘシ

第七條 眞言宗各宗派僧侶ノ智山派若クハ豊山派ヘ轉派セントスルモノ又ハ智山派豊山派僧侶ノ眞言宗各宗派ニ轉派セントスル者ハ左項ノ手續ニ依ル

- 一 轉派セントスル者ハ轉派承認願ニ冥加金五拾錢ヲ添付スヘシ
- 一 加入セントスルモノハ轉派加入願ニ履歷書及禮祿金五圓添付スヘシ

以上



第四輯 宗教法令摘要

寺院諸願届書式

○寺院移轉願ノ書式

寺院移轉願

何府縣市郡町村大字何

新義真言宗智山派

何

寺

當寺本堂及庫裏目下頽破セシモ檀家僅少ニシテ到底維持ノ見込相立タズ然ルニ本縣何郡何村何番地何某所有地何坪ヲ移轉地境内トシ該地ニ存在セル建物ヲ以テ本堂庫裏ニ充テ移轉境内地ハ勿論該建物ヲモ併セテ所有者ヨリ當寺ヘ寄附ノ上移轉致シ度候間御許可被成下度別紙相添此段奉願候也

年 月 日

右何寺住職

右檀家惣代

何

某

本寺法類

連

名

署

署

署

附屬書類

一 移轉後豫定明細帳

二 地所及建物所有者ヨリ本願許可ノ上ハ寺院所有トシテ寄附スベシトノ書面

三 本堂庫裏及境内地見取圖面

四 移轉後寺院ノ維持方法ヲ記載シタル書面

五 管長ノ添書

○寺院廢止願ノ書式

寺院廢止願

何府縣市郡町村大字何

宗派

寺

當寺ハ到底維持ノ見込無之候ニ付廢止致度候間御許可被成下度財産ハ別紙ノ通處理致度候併テ御許可相成度此段奉願候也

年 月 日

右何寺住職

右檀家惣代

何

某

本寺法類

連

名

署

署

署

府縣知事宛



一 財産處理方法トハ所有ニ屬スル財産ヲ最寄寺院又ハ本寺ノ基本財産ニ寄附スル等ヲ云フ(管長ノ添書ヲ要ス)

(注意)文明十八年以前ノ創立ニ係ル寺院ハ内務省宗教局ノ意見ヲ照會シテ許可ヲ決スルモノトス寺院創立ハ容易ニ許可セラレサルニ付斯ノ如キハ其創設冀望ノ箇所ニ移轉セハ相互ノ便ナラン

○寺院合併願ノ書式

寺院合併願

何府縣市郡町村大字何

宗派 何 寺

當寺ハ到底維持ノ見込無之ニ付何府縣市郡町村大字何宗派何寺へ合併致度候間御許可被成下度財産ハ別紙ノ通處理致度候條併テ御許可相成度此段奉願候也

右寺住職

年月日

何 某

右檀家惣代 三 名

本寺法類 連 署

府縣知事宛

(注意)財産ハ當然合併寺院へ歸屬スヘキモノナルニ付特ニ其ノ財産歸ノ屬者ヲ定ムルノ必要アル場合ヲ除クノ外本書式中「財産ハ」以下十八字ヲ除ク(管長添書ヲ要ス)

○本尊變更願ノ書式

本尊變更願

何府縣市郡町村大字何

宗派 何 寺

當寺本尊ハ從來何々ト有之候得共何々書類ニハ明ニ何々ト有之又當寺ニ存在セル古文書ニモ同様記載有之候ニ付前記朱書ノ如ク本尊變更之義御許可被成下度別紙證據書類寫相添へ此段奉願候也

右寺住職 何 某

右寺檀家惣代 三 名

府縣知事宛

附屬書類

- 一 何々書籍寫
- 二 古文書寫
- 三 棟札寫

(管長添書ヲ要ス)

○寺院境内地區域増加願ノ書式



寺院境内地區域增加願

一百坪

官有荒蕪地

當寺ハ本縣中有名ノ寺院ニシテ毎年何月何日ノ法要執行ノ際ニハ近郷ヨリ數千人ノ參詣有之候處現境内僅ニ二百坪ニシテ是等ノ參詣人群集雜沓シテ自然官有地ニ侵入スルコト、相成リ候ノミナラズ尙法要執行上ニ於テモ境内狹隘ノ爲メ支障少カラズ然ルニ前記官有荒蕪地ハ當寺境内地ニ接續シ當寺ノ法要執行上ニ於テモ必要ノ箇所ニ有之候間境内へ編入増加ノ儀御許可相成度別紙圖面相添此段奉願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職

何

右寺檀家總代

三

名

府縣知事宛

附屬書類

一境内及官有荒蕪地其他建物ノ位置、法要上法要ナル箇所、參詣道路トシテ必要ナル箇所等ノ明細圖及管長ノ添書

○寺院境内地區域變更願ノ書式

寺院境内地區域變更願

當寺現境内地何千坪ノ内何百坪何々私設鐵道會社ノ鐵道敷地ニ該當致シ候ニ付別紙圖面ノ通り區域變更相成度此段奉願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職

何

右寺檀家總代

三

名

府縣知事宛

附屬書類

一境内區域及建物位置鐵道敷地ニ充用セン箇所等ノ明細圖  
(管長添書)

○寺院境内區域變更并ニ境内佛堂明細張へ編入願ノ書式

寺院境内區域變更并ニ境内佛堂明細帳へ編入願

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職

何

右寺檀家總代

三

名

一境内佛堂壹宇(編入出願ノ佛堂)  
何々堂貳間半四面境外官有地三反三畝步(實測反別六反步)官有地ノ儘何々寺境内へ編入出願ノ分



本尊聖觀世音菩薩 金佛 御丈壹寸八分

由緒 養老年中建立ノ旨古老ノ口碑ニ傳ヘアルモ寛政年中何々寺火災ニ罹リ記  
録由緒等灰燼ニ歸シ事跡不詳元祿二年建築ノ棟札アリ

牛頭天王堂 壹間四面境外民有地山林貳畝歩民有ノ儘境内へ編入出願ノ分  
本尊 牛頭天王 木像

由緒 不詳

右何々堂ハ官有地何町歩ノ箇所ニ存在有之候該佛堂ハ往古當寺境内佛堂ニ有之候處  
當寺明細帳ノ脱漏ト共ニ脱漏致シ居リ候處當寺ハ明治三十二年二月二日指令甲第九  
七號ヲ以テ明細帳へ編入御許可相成候ハドモ該佛堂ハ編入漏ト相成居候ニ付該佛堂  
境内地六反歩ヲ當寺境内へ編入シ該堂ヲ當寺境内佛堂トシテ編入相成度該堂ノ存在  
ニ關シテハ元祿二年建築ノ棟札ニモ別當何寺住職寛全本寺金剛寺住職有圓ノ名前モ  
記載有之候ノミナラズ建物等モ別紙圖面ノ通り今代ノ建築ニアラザルコトハ其ノ古  
色等ニ於テ一目明瞭ニ有之候又牛頭天王堂ハ當寺境外所有地ニ有之由借等不明ニ有  
之候ヘドモ是亦其ノ建物等ニ依レバ古來ヨリ存在セシモノニ有之候ニ付該堂宇ノ存  
在セル貳畝歩ハ民有地ノ儘當寺境内へ編入相成該堂ヲモ境内佛堂トシテ編入相成度  
別紙圖面并棟札寫管長副申書相添此段相願候也

年月日

右何々寺住職 何 某  
右寺檀徒惣代 三 名

府縣知事宛

○佛堂明細帳訂正願ノ書式

佛堂明細帳訂正願

何郡何町村大字何

一何々堂 堂宇 間口八尺 奥行七尺 假堂

右佛堂ハ明治十二年書上ノ明細帳ニハ堂宇無之旨記載セシモ右ハ當時假堂ニ付假堂  
ハ明細帳ニ記載スベキモノニ無之ト誤解致シ記載セザリシ儀ニテ今更不都合ノ次第  
ニ候得共前記ノ通り明細帳訂正被成下度此段奉願候也

年月日

右何々堂受持  
何寺住職 何 某  
右信徒惣代 三 名

府縣知事宛

○寺院境内樹木伐採願ノ書式

寺院境内樹木伐採願



一杉立木 五尺 何本 (明治三十六年三月二十六日内務省令第三號 第三條ノ範圍即チ總樹木ニ對シ其ノ一割)

一松立木 三尺 何本 (同上ノ範圍即チ總樹木ニ對シ其ノ二割)

右ハ當寺境内地ニ存在スル樹木ニシテ別ニ風致木ニモ無之ニ付今般當寺本堂及庫裏修繕用トシテ伐採致度候間御許可被成下度別紙圖面相添此段奉願候也

年月日 何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職 何 某

右 檀家總代 三 名

府縣知事宛

附屬圖面ハ現境内ノ地圖伐採セントスル樹木ノ位置ヲ朱書シ且ツ總樹木ノ數ヲ類別記載ヲ要ス

(注意)境内官有地ノ木竹ハ明治三十六年三月二十六日内務省令第二號第三條第一項ニ限定セラレタル建造物修用ノ外伐採スルコトヲ得ズ而シテ其ノ伐採モ同省令第三條第一項第一號第二號ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ズ然レドモ枯損木其ノ他障礙木等ハ事實果シテ然ルニ於テハ伐採許可セラルベシ

○寺院明細帳訂正願ノ書式

寺院明細帳訂正願

何府縣何市郡町村大字何

宗派 何 寺

一境内地八百坪

右當寺境内地ハ明細帳ニ六百坪ト有之候モ事實誤謬ニシテ全ク前記八百坪ナルコトハ官有土地臺帳并ニ今般實測致候處相違無之ニ付明細帳訂正ノ義御許可相成度此段相願候也

年月日 右寺住職 何 某

右寺相家惣代 三 名

府縣知事宛

○寺院所有地賣却願ノ書式

寺院所有地賣却願

何郡何町村大字何番地字何々

一田 何反何畝步

右土地ハ當寺境外所有地ニ有之候處本堂改築ノ儀何年何月何日御許可ヲ得テ目下工事中ノ處折柄圖ラズ本年ノ凶作ニ遭遇セシ爲メ金融逼迫從テ寄附金等モ無之此儘工事ヲ中止スルモ遺憾ノ至リニ有之候間前記地所賣却ノ上改築費ニ補充仕度候間御許



可被成下度此段奉願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職

何

某

右寺檀家總代

三

名

府縣知事宛

○寺院買入ノ土地ヲ明細帳へ記入願ノ書式

寺院買入ノ土地ヲ明細帳へ記入願

何郡町村大字何番地字何

一田 何反歩

右土地ヲ當寺へ買入明治何年月日登記致シ候間明細帳へ境外所有地トシテ御記入被成下度此段相願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職

何

某

右 檀家總代

三

名

府縣知事宛

○佛堂上地官林境内編入願ノ書式

境内編入願

何府縣市郡町村大字何字何番何森林(原野)何町歩ノ内

一實測面積何反歩

右ハ當佛堂ノ上地森林ニ有之候處當佛堂ハ現境内僅ニ百二十坪ニシテ境内地ニハ風致木至テ僅少ニ有之然ルニ上地林ハ佛堂境内地へ接續シ松杉蒨蔚トシテ其ノ地種目ノ如何ヲ知ラザルモノハ凡テ當佛堂ノ境内ナリト信ジ居ル有様ニシテ當佛堂ノ風致上尤モ必要ナル箇所ナリ若シ一朝此ノ樹木ヲ伐採スルアラシカ當佛堂ハ恰モ裸躰ノ如キ有様トナリ佛堂ヲ失墜スルノ恐アリ斯ノ如キ事由有之候ニ付當佛堂ノ境内ニ編入之義御許可相成度別紙實測圖面相添此段相願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

何堂受持

何寺住職

何

某

右信徒惣代

三

名

内務大臣 宛

農商務大臣

附屬書類



一三斜法ニ依ル實測圖(但上地官林中編入セントスル箇所ノミ實測)  
二堂宇建物ノ位置其ノ建物ト上地林ト離隔間數現境內地及上地林周圍ノ地種地目ヲ  
記載シタル見取圖面

○寺院上地官林境內編入願ノ書式

境內編入願

何府縣何郡市町村大字何字何番

森林(原野)何町何反歩ノ内

一實測面積壹町四反三畝二步

右境外上地林壹町四反三畝二步ハ當院境內ノ風致上等必要ニ付官有地ノ儘現境內へ  
編入相成度左ニ境內編入ノ事由ヲ申述候

抑モ當院ノ由緒ハ世人ノ知ル處ナルヲ以テ爰ニ詳細陳述セザルモ川越ノ大師ト云ハ  
、世人ニ於テ殆ント知ラザルモノナキガ如キ縣下著名ノ寺院ナリ而シテ當寺院ノ位  
置タルヤ平地ヨリ之レヲ望ムトキハ幾層ノ高處ヲ占メ周圍殆ント田畑ヲ綾ラシテ現  
境內ト上地林トヲ以テ一團ヲ爲シ自然ノ區畫ヲ形テ造リ舊川越城趾ト遙ニ相對峙シ  
テ北方一路川越ノ市街ニ接續シテ其風致ノ優秀ナル古刹靈場タルコトヲ想見スルニ  
餘リアリ是ヲ以テ上地林ノ所屬如何ヲ知ラサルモノハ皆本院境內ナリト誤信シ老樹

蒼鬱ノ間ニ千古ノ歴史ヲ追想シテ轉々感情ヲ惹記スルモノハ一日ヨリ多キヲ加フル  
ハ自然ノ現象ニ之アリ蓋シ當院ノ風致ハ專ラ上地林ニ於テ保維セラル。ヲ以テナリ  
然ルニ一朝他人ノ有ニ歸シ樹木伐採ノ非運ニ遇ハ、千古ノ歴史ヲ抹殺シ寺院ノ風致  
ハ殆ント滅却スルニ至ラン尙其ノ風致上必要ナル密接ノ關係ヲ圖面ニ徴シ事實ニ就  
キ項ヲ別チ之ヲ述べ候

一坊舎(本堂庫  
裡兼用)ノ内大書院ハ三代將軍家光公誕生ノ間ヲ將軍家ヨリ當院へ下附相成リ  
タルモノナリ故ニ家光公世ニ在ル時ハ時々來駕セラレタルヲ以テ溝池庭園ヲ築キ甚  
タ美觀タリ殊ニ書院ト上地林トハ距離僅ニ二三尺ニシテ風致上必要ナルコトハ一目  
瞭然タリ

一慈惠堂(一ニ大師  
堂ト稱ス)ト坊舎トノ間ニアル廊下ハ上地林ニ密接シ境內風致ノ美觀ヲ副へ  
リ

一當院ニ於テ明治二十八年七月二十八日印刷シタル寺院境內外ノ繪圖面ハ樹木存在  
ノ現狀ヲ畫キタルモノニ付キ本件上地林ノ樹木カ果シテ境內ノ風致上必要ナルヤ否  
ヤハ該繪圖面ニ依テ明瞭ナリトス依テ特ニ本件願書ニ添付シ且ツ土地林ニ屬スル部  
分ニ朱点ヲ施シ之レヲ示ス(朱点内ハ上地官林ナリ)  
右之如キ事實ナルヲ以テ該上地林何歩ハ是非現境內ニ編入アランコトヲ懇願ノ至リ



ニ堪ヘズ依テ爰ニ實測圖面相添ヘ此段相願候也

年月日 何縣何郡何村

何々院住職 何  
右檀徒惣代 三 某  
名

内務大臣 宛  
農商務大臣

別紙トシテ左ノ書類ヲ添付スルヲ要ス

一三斜法ニ依ル實測圖面

二寺院佛堂ノ本堂庫裡其ノ他建物ノ位置并ニ其上地林トノ離隔間數ヲ記入シタル  
現境内地并ニ上地林周圍ノ地種地目ヲ記載シタル見取圖面

○寺院境内地紀念碑建設願ノ書式

寺院境内地紀念碑建設願

何郡何村大字何々寺前任職故何某氏ハ明治何年當寺ヘ在住以來全何年何月ニ至  
ルマテ至誠其職ニ盡サレタルノミナラス當寺法要費ヲ補ヒテ毎年法要ヲ爲シ又修繕  
費改築費及ヒ土地ヲ寄附シテ永遠維持ノ基礎ヲ定メ候等ノ事歷有之候則維新後寺領  
沒收及ヒ檀家減少ノ爲メ自然法要執行ノ費用十分ナラサリシモ自ラ是等ノ費用ヲ支

出シ法要上少シモ失墜ノ義無之今日ニ至リシハ全ク同氏ノ功績ニ有之又明治何年本  
堂ノ改築全何年庫裡ノ改築等ノ費用モ凡テ同氏ノ寄附ニテ支辨シ殊ニ全何年永遠當  
寺ノ基礎ヲ鞏固ナラシメンカ爲メ自己所有ノ境外地二千坪ノ私有地ヲ當寺有地ニ寄  
附シ併セテ其周圍ニ林立セル樹木ヲモ寄附シテ風致ヲ添ヘタル等ノ事蹟有之當寺ニ  
對シ其功勞尠カラス候間特ニ當寺ノ境内地ヲ撰テ同氏ノ碑表ヲ建設セントスル儀ニ  
有之候間御許可相成度別紙碑文寫并ニ圖面添付此段相願候也

年月日

何郡何村大字何

何寺住職 何  
右檀徒惣代 三 某  
名

府縣知事宛

一碑文ノ寫及建碑ノ位置ヲ示シタル現境内地ノ圖面ヲ添フ

○寺院境内地個人所有ヲ寺院ヘ寄附願ノ書式

所有地寄附願

何郡何村大字何  
一何百坪 何々寺境内



右何百坪ハ何々寺ノ境内ニ使用セシメ居リ候ヘトモ私所有地ニ有之候ニ付今回何々寺ノ境内地トシテ寄附致シ度候間御許可被成下度該寺院住職連署ノ上此段相願候也  
年月日

何那何村大字何々番地

所有者 何

某

同村何宗何々寺住職

何

某

府縣知事宛

○脱漏寺院ヲ明細帳へ編入願ノ書式

脱漏寺院明細帳編入願

何那何村大字何字何

何宗何々寺

右何々寺ハ當村ニ従前ヨリ存在シ當村何百戸ハ凡テ該寺ノ信徒ニ有之候處今回初メテ寺院明細帳へ脱漏ノコト發見致シ驚入リ候次第ニテ全ク明治十二年明細帳書上ヲ漏シタルモノト存セラレ候然ルニ當寺ノ従前ヨリ存在セシ事實ハ本堂庫裡等ノ建物ノ古色ヲ帶ヒタルニ徴スルモ明ナルノミナラス縣廳ノ官有地臺帳ニモ記載セラレ其

他別紙證據書類寫ノ通りニ有之候間寺院明細帳へ編入相成度此段相願候也

年月日

何那何村大字何字何

何宗何々寺住職

何

某

右信徒惣代

三

名

府縣知事宛

別紙ハ左ノ書類ヲ云ノ

- 一、官有臺帳ノ寫(寺院ノ登載セラレタル部分)
- 二、寺院ノ存在ヲ認ムルニ足ル證據書類ノ寫
- 三、本堂庫裡其ノ他建物ノ位置ヲ示シタル現境内ノ見取圖
- 四、明細帳

○寺院名改稱願ノ書式

寺號改稱願

何那何村大字何

何々寺

何々寺(朱書ナルヲ要ス)



當寺ハ元神佛混淆ノ際神社タリシモ維新ノ際神佛分離シテ寺院へ編入相成候ヘトモ其寺號ハ依然神社類似ノ寺名ヲ使用シ寺院號トシテ穩ナラザルニ付今般檀家等ト協議ノ上前記朱書ノ通り改稱致シ度候間御許可被成下度此段相願候也

年月日

右宗派何寺住職

何

右檀家總代

三

名 某

府縣知事宛

○寺院由緒訂正願ノ書式

由緒訂正願

當寺ノ由緒ハ不詳ト明細帳書上ケ候ヘドモ今回別紙証據書類發見致シ候ニ付別紙豫定明細帳ノ通り御訂正相成度此段相願候也

年月日

何郡町村大字何

宗派何寺住職

何

右寺檀家總代

三

名 某

府縣知事宛

一 証據書類ノ寫

二 訂正セントスル件々ヲ記載シタル豫定明細帳

○寺院移轉濟届ノ書式

寺院移轉濟届

當寺ハ何年何月何日指令第何號ヲ以テ何郡何村ヨリ何郡何村へ移轉ノ儀御許可相成候處今般移轉濟ニ相成候ニ付別紙明細帳相添此段及御届候也

年月日

何郡何村大字何

宗派何寺住職

何

右寺檀家總代

三

名 某

府縣知事宛

一 移轉後ノ明細帳ヲ添付

○寺院移轉跡地無料使用願ノ書式

官有荒蕪地無料使用願

何郡何村大字何番地

一 荒蕪地 何百坪

此素地相當代價金何圓

但一坪何十錢 近隣畑地價金一坪ニ付何錢ノ割

御許可ノ日ヨリ滿一ケ年ニ開墾成効



右地所タル當寺祖先ヨリ堂宇ヲ建立シ當代ニ至ル迄永住罷在候處寺院建物ハ何年何月何日指令第何號御許可ノ上何郡何村へ移轉致シタル跡地ニ有之候ニ付今般畑地ニ開墾シ成効ノ上ハ素地代價ヲ以テ拂下ヲ得収益ヲ以テ當寺維持ノ一助ト致シ度候間前記年間無料使用ノ儀御許可被成下度事業方法書收支豫算書實測圖面相添此段奉願候也

年月日

何郡何町村大字何

宗派何寺住職

何

右檀家惣代

三

名某

府縣知事宛

(別紙) 事業方法書

一開墾反別 何百坪

一開墾ノ目的 畑地ト爲シ永ク當寺ノ所有ニ屬セシメ収益ヲ以テ維持ノ一助ト爲スニアリ

一年度 御許可ノ日ヨリ一週間以内ニ開墾ニ着手シ滿一ケ年ヲ以テ成効ノ見込且ツ東方ヨリ着手漸次完了シ處々散點セシメズ

一通路 別紙繪圖面ノ通り道路ヲ存シ耕耘用ト爲スコト

(別紙) 收支豫算書

支出ノ部

種別	數	代價	單價
人夫	何人	何圓	一人ニ付何錢
肥料	何貫目	何圓	一貫目ニ付何錢
種子	何疋	何圓	一疋ニ付何錢

收入ノ部

種類	數	代價	單價
大豆	何石	何圓	一石ニ付何錢

一實測圖面添付ヲ要ス

○寺院移轉跡地拂下願ノ書式

官有荒蕪地拂下願

何郡村字何番地



一荒蕪地 何百坪  
右地所ハ何年何月何日指令第何號ヲ以テ無料使用願ノ儀御許可ノ上直ニ開墾ニ着手致候處今般畑地ニ開墾濟ト相成候ニ付無料使用出願當時ノ素地代價金何圓ヲ以テ御拂下相成度此段奉願候也

年月日

何郡村大字何

宗派何寺住職

何

右檀家總代

三

名 某

府縣知事宛

○佛堂廢止願ノ書式

佛堂廢止願

何府縣市郡町村大字何

何

々

堂

當佛堂ハ到底維持ノ見込無之候ニ付廢止致度候間御許可被成下度財產ハ別紙ノ通處理致度候間併テ御許可相成度奉願候也

年月日

右何堂受持

何寺住職

何

某

右信徒總代

三

名

府縣知事宛

一境内及建物ハ賣却シ最寄佛堂又ハ寺院へ寄付スル等其處理方法等ヲ添付スルヲ要ス

○佛堂合併願ノ書式

佛堂合併願

何縣郡町村大字何

何

堂

當佛堂ハ到底維持ノ見込無之ニ付何郡何村大字何何々堂へ合併致度候間御許可被成下度財產ハ別紙之通處理致度候條併テ御許可相成度此段奉願候也

年月日

右何々堂受持

何派住職

何

某

右信徒總代

三

名

府縣知事宛

○佛堂移轉願ノ書式

佛堂移轉願



何縣郡町村大字何

何

堂

當佛堂境內地全部何々鐵道ノ線路敷地ニ該當致シ候ニ付今般信徒協議ノ上本縣何郡何町村大字何番地何某所有地何坪ヲ移轉地境內トシ該地ニ存在セル建物ヲ以テ堂宇ニ充テ移轉境內地ハ勿論該建物ヲモ併セテ所有者ヨリ當佛堂へ寄附ノ上移轉致度候間御許可被成下度別紙相添此段奉願候也

年月日

右何々堂受持

何寺住職

某

右檀家總代

三

名

府縣知事宛

(注意) 寺院移轉願參照

○佛堂境內地區域變更願ノ書式

佛堂境內地區域變更願

當佛堂現境內地何百坪ノ内何拾坪何々私設鐵道會社ノ鐵道敷設ニ該當致シ候ニ付別紙圖面ノ通り區域變更相成度此段奉願候也

年月日

何縣郡町村大字何

何々堂受持

何寺住職

何

某

右信徒總代

三

名

府縣知事宛

(注意) 寺院境內地區域變更願參照

百五十坪未滿ノ寺院跡地拂下願ノ書式

○官有荒蕪地拂下願

何郡何村大字何何番字何々

一荒蕪地 百三十坪 代價金何圓

但壹坪ニ付何十錢 隣地一坪ニ付何十錢

右地所ハ元當寺境內地ニ有之候處何年何月何日指令第何號御許可ノ上何郡何村へ移轉致シタル跡地ニ有之當寺ト關係淺カラザル土地ニ付キ永ク當寺所有地トシテ御拂下被成下度別紙實測圖面相添此段奉願候也

年月日

何縣郡町村大字何

宗派何寺住職

何

某

右寺檀家總代

三

名



府縣知事宛

(注意) 隨意契約ニ依リ荒蕪地ノ拂下ヲ出願スル土地ハ必ズ本例ノ如ク百五十坪未  
滿ナルヲ要ス

○寺院本堂庫裏改築願ノ書式

本堂庫裏改築願

當寺本堂庫裏何年何月何日類焼致シ候ニ付今般檀家總代協議ノ上建築費ヲ支出シ別  
紙設計仕様書ノ通り改築仕度候間御許可相成度此段奉願候也

年月日

何府縣何郡町村大字何々

宗派何寺住職 何

右 檀家總代 三名

府縣知事宛

(注意)

府縣知事宛ナルモ郡長分任事項ナルニ付郡長へ提出ス改築費用ヲ一般公衆  
ノ寄附金ニ依ル場合ハ本願ノ追書ニ「追テ本願書改築ニ關スル寄附金募集  
願ハ別願書トシテ差出候間同時ニ御許可相成度爲念此段申添候也」記載ヲ  
要ス

○寺院本堂庫裏修繕願ノ書式

寺院本堂庫裏修繕願

當寺本堂庫裏ハ大破致シ到底小修繕ノ能クスル處ニアラサルヲ以テ今般檀家總代協  
議ノ上建築費ヲ支出シ別紙設計仕様書ノ通り修繕仕度候間御許可相成度此段奉願候  
也

年月日

何縣郡町村大字何

宗派何寺住職 何

右 檀家總代 三名

府縣知事宛

(注意) 寺院本堂庫裏改築願書式參照

但小修繕ノ如キハ許可ヲ要セザルモ寄附金ヲ募集スルガ如キ場合ハ凡テ許可ヲ  
經ザル可カラズ

○寺院創立願ノ書式

寺院創立願

何郡何村ハ明治何年ノ開墾地ニシテ最初ハ人家僅ニ五六戸ナリシモ漸次増加シテ現  
今三百余戸ト相成リ遂ニ一村ヲ成スニ至リタルモ新開墾地ニ付近傍ニ一ヶ寺モ無之  
其ノ最近ノモノト雖ドモ尙二十餘里ヲ隔リタル何々寺アルノミ然ルニ當村全體何宗



派ノ信徒ニ有之候間別紙ノ通り一寺創立致度候間御許可相成度此段奉願候也  
年 月 日

何縣何郡村大字何  
創立者何某外何百人總代

三 名

府縣知事宛

別紙ハ左ノ如シ

一 豫定明細帳 境内坪數

二 本堂庫裏ノ位置ヲ示シタル見取圖面

三 維持ノ方法ヲ記載シタル書類

○寺院上地官林保管願ノ書式

上地官林保管願

何縣郡村大字何番森林

面積何町步ノ内

一 實測面積何程

木竹ノ種類及數

松 凡何本 杉 凡何本

竹 凡何本 雜木凡何本  
期間何年間 但 自明治何年何月何日  
右ハ當寺ノ上地森林ニ有之候ニ付保管御許可相成度別紙實測圖及ビ保護方法書相添  
此段相願候也

年 月 日

何縣郡村大字何

宗派何寺住職 何

何寺檀家總代 三

某 名

大林區署長宛

○寺院寄附金募集願ノ書式

寄附金募集願

何郡何村字何

何宗派何々寺

右舊藩時代南部利直公ヨリ該寺接續地高何百石ヲ寺領トシテ附與相成該寺ヲ維持致  
シ來リ候處維新後御改革相成候以來右様ノ事無之僅ニ七十餘戸ノ檀家ニテ目下大破  
セルモ修繕及維持ノ方法相立タザルニ付今般廣ク信仰諸人ヨリ寄附募集ノ上修繕費  
及永久維持資本ニ致度候間御許可被成下度別紙設計書及募集調書相添此段奉願候也



年月日

何縣郡村大字何

宗派何寺住職 何

右 檀家總代 三

某 名

府縣知事宛

募集調書

一募集ノ目的

該寺ハ資本財産ヲ有セズ僅ニ七十餘戸ノ檀家ニテハ維持及ヒ難ク遺憾ニモ維新後完全ナル修繕ヲ爲サ、ル爲メ大破ノ個所多ク現ニ修理セザルベカラザルニ相迫リタルニ依リ弘ク信仰各位ノ寄附ヲ得是非修繕及維持資本ノ設備致度目的ニ有之候修繕費金何百何十圓維持資本金何百何十圓

一募集方法

該寺ノ住職及ビ檀家總代各地ニ出張シテ募集シ住職ヨリ右募集ニ關スル書類ヲ添付シテ寄附ヲ申入ル、方法ニ候受納手簿ハ募集臺帳及一定ノ受領證ヲ備へ置キ金員ヲ領收シタル時ハ直ニ記帳ノ上受領證ヲ交付シ右ノ記帳交付ハ住職掌理ス

一募集金額 何百何十圓

一募集區域 何々縣管内

一募集金管理方法

住職ニ於テ管理シ募集シタル金額拾圓ニ達シタル時ハ直ニ郵便貯金又ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ利殖シ置キ修繕費ノ外該方法ニヨリ永遠維持スルモノトス

(別紙) 修繕設計書

一金何百何拾圓

内譯

金何十圓 杉何白本 但一本何十錢ノ見込

金何十圓 栗何百本 但一本何十錢ノ見込

金何十圓 松何百本 但一本何十錢ノ見込

金何圓 何々々 但何々々

金何百圓 工作料費 但大工木挽其他凡七百人

右ノ通り設計仕候也

年月日

設計者 何

某

(別紙) 三ヶ年間ノ當該寺院ノ収支計算調(書式略ス)



(注意) 募集ノ區域二以上ノ府縣ニ跨ルトキハ内務大臣ノ許可ヲ要ス  
管長ノ添書ヲ要ス

○寺院寄附金募集延期願ノ書式  
寄附金募集延期願

何郡何村大字何々寺本堂庫裏修繕寄附募集ノ儀明治何年何月何日指令第何號ヲ以テ御許可相成爾來募集ニ從事罷在候處本年凶作ノ結果一般困難ノ場合寄附金蒐集ノ見込相立ダズ候ニ付明治何年何月何日迄募集期限延期ノ儀御許可被成下度檀家總代連署ヲ以テ此段奉願候也

年 月 日

何縣何郡村大字何々

宗派何寺住職 何 某  
右 檀家惣代 三 名

府縣知事宛

○佛堂上地官林保管願ノ書式

上地官林保管願

何縣郡村大字何番森林  
面積何町歩ノ内

一實測面積何程

木竹ノ種類及數

松 凡何本

杉 凡何本

竹 凡何本

雜木凡何本

期間何年間

但自明治何年何月  
至明治何年何月

右ハ當佛堂ノ上地ノ森林ニ有之候ニ付保管御許可相成度別紙實測圖及ビ保護方法書相添此段相願候也

年 月 日

何府縣郡村大字何  
何々堂受持

何寺住職 何 某  
右信徒惣代 三 名

何々大林區署長宛



第五輯 補遺

智山派寺院明細表

▲京都府宗務支所下

七	松原通	京都市	九	六角通	愛染院	同	松原通	六波羅密寺
十一	五辻通	大報恩寺	十八	七本松通	清和院	廿二	松原通	東之坊
廿四	松原通	西之坊	廿五	錦小路通	龜龍院	同	清閑寺町	清閑寺
○	竹田村	紀伊郡	廿三	伏見町	觀音寺	同	宮野莊町	光明寺
○	竹田村	安樂壽院	十五	綴喜郡普賢寺村	觀音寺	十八	井手村	四福寺
十九	大山崎村	實積寺	二十	同 東	大德寺	廿二	宇治田原村	西光院
○	草内村	法泉寺	十三	笠置村	笠置寺	十四	高麗村	神童寺
○	立川村	大道寺	十六	加茂村	現光寺	十七	大川原村	春光寺
九	瓶原村	海住山寺	同	同	十輪寺	十九	笠置村	法明寺
十五	瓶原村	國分寺	廿二	加茂村	福田寺	廿三	稻田村	觀音寺
十八	棚倉村	蟹滿寺	廿四	久世郡宇治町	惠心院			
二十	西和東村	筠溪寺						
同	大川原村	福常寺						

南桑田郡

十五 東別院村 金輪寺

大坂府

八 南河内郡彼方村 明王寺

奈良縣山邊郡

廿四 波多野村 自作寺

同 宇治郡

廿五 阪合部村 釋伽寺

同 添上郡

柳生村 大保寺

▲上品蓮臺寺

京都府

六 愛宕郡野口村 上品蓮臺寺

同 福勝院

廿五 塔中 玉藏院

同 同

▲和歌山縣宗務支所下

那賀郡

十四 根來村 律乘院

同 小倉村 地藏寺

同 根來村 毘沙門寺

廿二 岩出村 觀音院

同 山崎村 圓滿寺

十四 畑宛堂町

同 同 引接寺

同 同 寶泉院

同 同 眞言院

同 同

十五 岩出村 關伽井寺

十九 池田村 知足院

廿一 同 安祥寺

同 同 壽福寺

同 同 榮福寺

同 同 同湯窪

廿五 上品蓮臺寺塔中 順明院

同 同 大慈院

同 同

同 同

十八 同 高塚 正覺寺

二十 上岩出村 阿彌陀寺

同 川原村 西方寺

同 上岩出村 觀音寺

同 紛川村 地藏寺

同 同



廿三	岩出村	地福寺	同	同大町	無量壽院	同	山崎村	地藏寺	
同	下神野村	地藏寺	同	同福田	觀音寺	同	同樋ノ下	善福寺	
廿四	根來村	正樂寺	同	山崎村	毘沙門寺	廿五	岩出村	毘沙門寺	
同	上岩出村	觀音寺	同	同南大池	長泉寺	同	根來村	藥師寺	
同	同西阪本	明王院	同	同	菩提院	同	同	理性院	
十八	東山東村	小傳法院	十九	山口村	寶瀧寺	廿四	東山東村	寶光寺	
廿五	同所	西光寺	十九	和歌山市	延壽院				
▲高知縣宗務支所下									
三	國府村	長岡郡	十二	五臺山村	竹林寺	十三	東豐永村	定福寺	
同	西豐永村	國分寺	十九	本山村	東光寺	二十	美良布村	寶珠寺	
十一	高岡郡佐川町	乘臺寺	十五	波介村	清光寺	十七	窪川町	岩本寺	
十二	岩本村	香美郡	十五	佐古村	大日寺	十七	富家村	金剛寺	
同	平田村	幡多郡							
十五	西分村	安藝郡	十九	川北村岡	清水寺				
▲愛媛縣宗務支所下									
一	和氣村	溫泉郡	九	同和氣濱	圓明寺	十	東中嶋村	長隆寺	

十四	垣生村	長樂寺	十五	東中嶋村	長善寺	同	陸野村	玉善寺	
同	餘土村	善喜寺	同	生石村	安樂寺	同	雄群村	藥師寺	
同	朝美村	福泉寺	十六	久枝村	安祥寺	十八	堀江村	東林寺	
同	潮見村	常福寺	同	生石村	光明寺	十九	御幸村	圓盛寺	
同	和氣村	善福寺	同	久枝村	教本坊	二十	堀江村	眞福寺	
廿一	久枝村	高音寺							
四	中村	伊豫郡	八	同所	稱名寺	十	原町村	理生院	
十二	南伊豫村	寶珠寺	十三	原町村	永代寺	同	南伊豫村	傅宗寺	
十四	松前村	正圓寺	十五	岡田村	教明寺	同	南伊豫村	本願寺	
十六	上灘村	宗通寺	十七	北山崎村	常願寺	同	同中	法壽院	
同	南伊豫村	地藏寺	同	岡田村	金蓮寺	十八	南山崎村	眞成寺	
同	同大平	長泉寺	二十	南伊豫村	入佛寺	廿二	廣田村	光明寺	
十五	松山市	善正寺	廿五	同道後町	三寶寺				
▲熊本縣宗務支所下									
十五	水上村	球磨郡	十八	黒肥地村	青蓮寺				
▲宮崎縣宗務支所下									
十五	都於郡村	兒湯郡	十八	下穂北村	延命寺				
	南那珂郡	黒貫寺							



○ 那古村 淨土院 ○ 新別府村 天林寺 古城村 伊滿福寺

▲長崎縣平戶宗務支所下

十 江迎村 北松浦郡 壽福寺

十四 平戸村 北松浦郡 談議所

十七 中野村 妙觀寺

同 今福村 善福寺

廿二 平戸村 西禪寺

七 日字村 東彼杵郡 青蓮寺

六 香推村 豐岐郡 能滿寺

五 三國町 坂井郡 性海寺

同 兵庫村 大善寺

同 浪花中町 龍泉院

同 寶永中町 普賢院

同 寶永中町 常福院

廿二 麻生津村 足羽郡 泰澄寺

同 柚木村 西光寺

同 紐差村 福滿寺

十九 志々岐村 阿彌陀寺

二十 早岐村 淨漸寺

十八 同 金藏寺

同 同 瀧谷寺

廿四 金津町 總持寺

十三 福井市 持寶院

同 寶永中町 地藏院

十四 丹生郡殿下村 愛染寺

同 鹿町村 潮音院

十八 大鳴村 金剛院

廿八 中里村 東漸寺

日字村 清岩寺

十九 鷹巢村 糸崎寺

同 三國町 教授院

二十 丸岡巽町 圓福院

廿四 寶永壽町 壽命院

十九 下岬村 觀音寺

加賀國江沼郡

十五 山代村 藥王院

▲岐阜縣宗務支所下

武儀郡

九 吉田村 新長谷寺

十一 一色村 本巢郡 大福寺

同 本田村 修學院

廿四 大垣町 安八郡 長光院

同 小藏村 羽嶋郡 眞福寺

同 高須町 海洋郡 瑞應院

十七 豐岡村 可兒郡 長福寺

十六 芥見村 稻葉郡 願成寺

同 千疋村 山縣郡 蓮花寺

十五 和知村 加茂郡 松林寺

十八 宮野村 香林寺

十六 同村 福性寺

廿四 阿曾野村 藥師堂

十九 眞桑村 法英寺

廿五 海西村 德林寺







廿一	蟹江町	安樂寺	同	正則村	普明院	廿三	甚目寺村	東林坊
同	市江村	光明坊	同	甚目寺村	地藏堂	同	神島田村	慈雲寺
同	百高村	藥師堂	同	甚目寺村	觀音寺	廿四	津嶋町	吉祥坊
同	同所	龍泉寺	同	同所	性德院	同	同所	福壽坊
同	基目寺村	西網之坊	同	同所	普門院	同	八幡村	大聖院
同	中嶋郡三宅村	長福寺	同	同所	東網之坊	同	須成村	大日堂
同	光堂村	大願寺	同	同所	桂林寺	同	同	不動坊
同	神明津村	地泉院	同	同所	性海寺	同	同	長曆寺
同	大塚村	安住院	同	同所	地藏堂	同	同	大動坊
同	一宮町	寶藏院	同	同所	阿彌陀堂	同	同	永福寺
同	大塚村	地藏堂	同	同所	阿彌陀堂	同	同	阿彌陀堂
同	愛知部	寶珠院	同	同所	大日堂	同	同	護忍坊
同	御厨村	西福院	同	同所	東光院	同	同	西方院
同	御器所村	地藏堂	同	同所	泉藏院	同	同	喜見寺
同	御厨村	光明院	同	同所	慈雲院	同	同	東福院
同	知多郡	多智郡	同	同所	寶壽院	同	同	樂師寺
同	荒尾村	大智院	同	同所	彌勒寺	同	同	中之坊
同	荒尾村	觀音寺	同	同所	寶藏寺	同	同	地藏寺
同	善師野村	寂光院	同	同所	密嚴院	同	同	慈眼寺
同	同羽黒村	觀音寺	同	同所	松林寺	同	同	延命寺
同	大山町	大師堂	同	同所	松林寺	同	同	

▲神奈川縣宗務支所下

十二	味鏡村	護國院	十五	同六卿村	常光院	十九	同味鏡村	西方寺
同	同如意村	雞足坊	廿五	同六卿村	觀音寺	同	味鏡村	小松寺
廿五	小牧町	東春日井郡	同	朝日村	眞福寺	廿一	味鏡村	
廿一	瑞穂村	栗栗郡						
九	岡崎町	額田郡						
廿三	長島村	三重縣桑名郡						
十五	神戶町	河藝郡						
十五	神戶町	林光寺						
特等一	大師河原村	平間寺	五	神奈川町	金藏院	七	中原村	西明寺
九	田島村	圓能院	十四	同渡田	成就院	十三	町田村	東漸寺
同	御幸村	無量寺	同	旭村	眞觀寺	同	神奈川町	東光寺
同	御幸村	延命寺	同	旭村	寶藏院	同	生見尾村	東福寺
同	川崎町	眞福寺	同	高津村	安養院	同	橘村	蓮花寺
同	町田村	正樂寺	同	旭村	長松寺	同	住吉村	大樂寺
同	中原村	常樂寺	同	高津村	明王院	同	大綱村	觀音寺
同	高津村	正福寺	同	中原村	寶藏寺	同	神奈川町	普門寺































十四	神流村	觀音寺	十七	平井村	圓滿寺	十六	三波川村	來迎寺
十八	新町	專福寺	同	神流村	四勝寺	十九	平井村	光嚴寺
同	入野村	隨雲寺	同	同	正覺院	同	藤岡町	壽樂寺
二十	神流村	眞樂寺	同	神流村	水宮寺	廿一	同	龍泉寺
同	福島町	東學院	廿三	美土里村	醫王寺	同	同	千手寺
十三	木ノ瀬村	西方院	廿四	吉井村	常福院	廿五	日野村	圓住寺
十五	太間々町	蓮花院						
同	山	波光寺						
二十	嶋村	寶性寺	十八	前橋市	清淨院			
廿四	西谷田村	淨蓮院						
五	片丘村	牛伏寺	九	今井村	寶輪寺	十四	廣丘村	郷福寺
同	十二	常光寺	十三	朝日村	古川寺	同	片丘村	常光寺
同	壽村	弘長寺	同	同	王德寺	同	洗馬村	眞正寺
同	生坂村	永福寺	同	里山邊村	菟川寺	十五	廣丘村	光明寺
同	和田村	照明寺	同	朝日村	光輪寺	同	片丘村	法船寺
同	和田村	常樂寺	同	片丘村	松林寺	十七	坂井村	安養寺
十八	和田村	聖德院	同	上川手村	長光寺	十九	松本町	寶幢院

▲長野縣南部宗務支所下

同	和田村	觀音寺	同	神林村	福應寺	同	壽村	寶藏寺
二十	中川手村	光久寺	同	中山村	圓城寺	廿四	玉川村	眞龍院
十四	檜川村	觀音寺						
五	四賀村	佛法紹隆寺	同	平野村	照光寺	同	豐平村	眞德寺
同	湖南村	善光寺	同	玉川村	長圓寺	同	長地村	平福寺
十二	中洲村	小泉寺	同	本郷村	高榮寺	同	川岸村	昌福寺
同	同	眞福寺	同	四賀村	開敷院	同	同	萬福寺
十六	同	眞持院	同	中洲村	金乘院	同	同	長泉寺
十七	永明村	眞持院	同	上諏訪町	甲立寺	廿五	本郷村	法隆寺
同	長地村	眞秀寺	同	宮川村	社宮寺			
九	高遠町	樹林寺	同	伊那富村	香住寺	十四	東箕輪村	日輪寺
同	同	無量寺	同	朝日村	高德寺	同	中箕輪村	西光寺
十八	長藤村	香福寺	同	飯鳴村	眞光寺	同	伊那富村	藥王寺
同	同	延壽院	同	美和村	觀音寺	同	西箕輪村	恩德寺
廿一	美郷村	眞福寺	同	伊那富村	七藏寺	同	長藤村	昌福寺
同	河南村	成就院	同	美郷村	玉雲寺	同	中箕輪村	妙樂寺
廿五	伊那村	龍海院	同	手真村	宗明寺	廿三	中箕輪村	
十四	下久堅村	文永寺	同	山本村	光明寺	十八	喬木村	安養寺
十九	龍丘村	長石寺	同	三穗村	立石寺	同	下條村	藤本院







▲山梨縣甲宗務支所下

八	松里村	東山梨郡	放光寺	十	勝沼町	大善寺	十四	神金村	福藏院
十五	諏訪村	圓照寺	同	同	松里村	龍光院	十九	八幡村	不動寺
廿三	三宮村	吉祥寺	廿五	日川村	十輪院	同	同	松里村	龍海寺
廿四	九一色村	吉祥寺	十九	甲府市大工町	滿藏院	廿五	紺屋町	延壽院	
同	同	花光院	十九	祝村	金剛寺	廿五	竹ノ原村	文殊院	
十	竹ノ原村	福光園寺	十九	祝村	金剛寺	廿五	竹ノ原村	文殊院	
十	增穂村	明王寺	廿二	同	寶藏寺	廿三	同	金龍寺	
十九	丹波山村	法興寺	同	上野原村	久善寺	廿四	丹波山村	東福寺	
同	同	寶泉寺	廿二	同	寶藏寺	廿三	同	金龍寺	
同	同	福藏寺	廿二	同	寶藏寺	廿三	同	金龍寺	
二十	龍王村	光善寺	廿二	同	寶藏寺	廿三	同	金龍寺	
二十	小笠原村	福性院	廿二	同	寶藏寺	廿三	同	金龍寺	

▲山梨縣乙宗務支所下

東山梨郡

十一	岡部村	大藏經寺	十六	同	八幡村	神宮寺
廿一	岡部村	長谷寺	廿二	八幡村	清水寺	圓應寺
十四	田ノ岡村	長谷寺	二十	大鎌田村	長谷寺	常光寺
廿三	同	興藏寺	廿四	同	清光寺	
十四	大宮村	鹽澤寺	二十	同	明王院	
十五	賑岡村	眞藏院	二十	同	明王院	
十八	一櫻村	慈眼寺	同	左右口村	圓樂寺	願昌寺
十八	英村	安樂寺	二十	豐富村	大福寺	眞光寺
同	國立村	普明寺	廿二	左右口村	常福寺	淨瀧寺
廿三	豐富村	延命寺	同	黑駒村	正福寺	養德院
廿五	甲府市横近習町	廣嚴寺	同	黑駒村	正福寺	
十三	那古町	圓藏院	十四	國府村	清澄寺	小綱寺
同	八束村	常光寺	同	豐房村	寶珠寺	小松寺
同	瀧田村	知思院	同	館野村	國分寺	來福寺
同	田原村	成就院	同	吉尾村	道種院	小澤寺
同	神戶村	遍智院	同	田原村	勝福寺	華藏院

▲千葉縣安房宗務支所下

安房郡



同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

岩東長豐千七北九館鴨白西豐佐大丸太同健國平田西國  
井條尾房房歲浦條軍野川濱岬房房久山村村海村田府府群原岬府  
村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村

普福紫西地長鹽西林金寶善延滿三大大寶能金普正福寶蓮  
門性雲光藏性藏光光剛泉榮壽壽藏鳴德德藏泉門壽壽藏花  
院院寺寺院寺坊寺院院院院院院院院院院院院院院院院

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

稻天同館豐同曠那館東勝同同吉鴨由豐七勝北豐東瀧豐  
都津野田田町町古野條山同同尼川基田浦山條浦條田房  
村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村

極海長舍圓大高秀瀧龍持金來延本正大大海大寶海大長自  
樂福福那鏡聖德滿音性福剛迎命覺福聖雲乘積光光福性  
寺寺寺院寺院院院院院院院院院院院院院院院院院院

同廿同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同廿同同

佐白瀧西吉江七健富同岩豐長豐同鴨同和曠八佐那岩同  
久濱田岬尾見油田浦浦井津尾房川田東久古井井  
間村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村

理吉慈持照樂觀建金來圓泉東松常神青威德眞密西金福  
性祥尊明善王養仁光福照光福野樂樂藏龍德藏勝殿之藏壽  
院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同十六同

西吉曾和健北吉北豐豐七九同九岩吉平館保豐和四國西  
岬尾呂田田條條房田浦浦重重井尾群山田津田條府府  
村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村

圓眞蓮西正不圓善安東圓通觀安壽常龍長歡愍長藥寶寶  
光福花福福動明淨樂光正照音養藥秀泉福喜持泉王積國  
寺寺院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院

同同同同同同十九同同同同同同同同同同同同同同同

神由由北同稻那田神大山千曠勝船南豐國瀧千瀧西東千田  
戶基基三原都古原戶山歲町山形三屬府田歲田條條歲原  
村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村

樂來石寶盛智惠瀧藤常金觀極長沼觀東正眞勸金安福勝  
王迎間性德光日山榮福剛音樂勝蓮音福福覺野修乘養性  
院院寺院寺院寺坊寺寺院院院院院院院院院院院院院

同同同同同同同同同同同同同同同同十八同同同十七同同同

西同吉由南曠船西西神江九館豐平瀧北岩平鴨神鴨健九  
岬尾基三原町形條岬戶見重野房群田三井井川川川田田  
村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村

觀森善長建住大慈光千淨覺延豐勝樂眞福成東金觀圓寶  
音藏能福福吉福恩明葉照性命前藏王言滿願勝蓮音明樹  
寺寺院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院



























廿三	矢田部村	寶樹院	同	高松村	常壽院	同	中野村	龍藏院
同	中島村	極樂寺	同	鹿島町	東善寺	同	波野村	寶藏院
廿四	中島村	東光院	同	矢田部村	知足院	同	東下村	專光院
同	豐津村	普渡寺	同	同	最勝院	同	中島村	正覺院
同	豐津村	地藏院	同	同	觀照院	同	東下村	鹿王院
同	矢田部村	安養院	同	同	正等院	同	同	吉祥院
同	豐野村	西福院	同	高松村	長樂寺	同	同	寶相院
同	大同村	寶藏寺	同	豐津村	地福院	同	同	寶性院
同	同	威德院	同	同	同	同	同	同

▲栃木縣河内宗務支所下

九	瑞穂野村	金剛定寺	同	同	成願寺	同	城山村	持寶院
同	藥師寺村	龍興寺	同	同	醫王寺	同	本郷村	滿福寺
同	吉田村	東福寺	同	同	滿福寺	同	古里村	明星院
同	藥師寺村	安國寺	同	同	能滿寺	同	本郷村	明願寺
同	明治村	西念寺	同	同	西方寺	同	明治村	寶光院
同	篠井村	東海寺	同	同	龍泉寺	同	石平村	瑣琳寺
十九	字都宮市	能延寺	同	同	龍泉院	同	字都宮市	花藏院
同	字都宮市	高照院	同	同	千手院	同	同	光明院
同	明治村	延命院	同	同	龍藏寺	同	同	自性院
同	明治村	長福寺	同	同	寶蓮寺	同	同	觀喜院
同	藥師寺村	芳賀郡	同	同	同	同	同	同
十五	祖母井村	觀音寺	同	中村	遍照寺	同	同	同

十三	北高根澤村	淨蓮寺	同	同	開雲寺	同	同	華藏寺
同	國分寺村	慈眼寺	同	同	寶性寺	同	同	長清寺
十五	栃木町	滿福寺	同	同	惠光院	同	同	同
十八	國分寺村	成就院	同	同	同	同	同	同
十二	鹿沼町	藥王寺	同	同	延藏寺	同	同	寶藏寺
同	南押原村	成就院	同	同	寶性寺	同	同	等持院
同	南押原村	龍光寺	同	同	城寶寺	同	同	寶珠院
同	柏尾村	自性院	同	同	藥定寺	同	同	觀音寺
同	北押原村	圓明院	同	同	福生寺	同	同	寶珠院
十五	字都宮市	生福寺	同	同	延命院	同	同	同

▲栃木縣芳賀宗務支所下

十四	清原村	大乘寺	同	同	南高根澤村	同	同	般若寺
十五	田野村	光明寺	同	同	益子町	同	同	地藏院
十七	益子町	阿彌陀寺	同	同	南高根澤村	同	同	長命寺
同	市羽村	覺真寺	同	同	同	同	同	壽命院
同	茂木町	瑞岩寺	同	同	同	同	同	觀音寺
同	須藤村	清龍寺	同	同	同	同	同	東光寺
同	益子町	不動院	同	同	同	同	同	持寶院
同	市羽村	地藏院	同	同	同	同	同	醫王寺











同	小名濱町	修生院	同	酒井村	出藏寺	同	十五	同	正覺院
同	東白川郡	如意輪寺	同	石井村	龍光寺	同	同	同	觀音寺
同	近津村	東淨寺	同	高野村	藏光寺	同	同	同	觀音寺
同	近津村	德善院	同	棚倉村	西迎院	同	同	同	正福院
同	石井村	寶泉寺	同	高城村	泉福寺	同	同	同	寶藏院
同	社川村	千光院	同	近津村	不動院	同	同	同	淨性院
同	常豐村	地藏院	同	竹貫村	普門院	同	同	同	藥王寺
同	近津村	東光寺	同	同	彦根寺	同	同	同	藥王寺
同	石川町	乘蓮寺	同	同	同	同	同	同	淨光寺
同	中谷村	觀照寺	同	同	同	同	同	同	東福寺
同	同	東光寺	同	同	同	同	同	同	來福寺
同	泉村	遍照院	同	同	同	同	同	同	城見寺
同	中谷村	龍澤寺	同	同	同	同	同	同	鹽澤寺
同	白石村	重林寺	同	同	同	同	同	同	常光寺
同	同	觀音寺	同	同	同	同	同	同	寶泉寺
同	久野濱村	圓成院	同	同	同	同	同	同	保應寺
同	大久村	淨土寺	同	同	同	同	同	同	慈眼寺
同	廣野村	修行院	同	同	同	同	同	同	正福寺
同	上岡村	地藏院	同	同	同	同	同	同	同
同	久野濱村	大聖寺	同	同	同	同	同	同	同

同	小野新町	極樂寺	同	廿二	守山村	甚目寺	同	廿四	夏井村	光明寺
同	飯豊村	東光寺	同	同	同	同	同	同	同	同
九	大妻村	醫徳寺	同	十三	上眞野村	安養寺	同	十四	石神村	泉龍寺
十四	杵衝村	長樂寺	同	同	同	同	同	同	同	同
廿二	同	奇龍寺	同	同	同	同	同	同	同	同
廿四	大屋村	正福寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	白江村	長命寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	松光寺	同	同	同	同	同	同	同	同
十五	古關村	白河郡	○	同	同	同	同	同	同	同
十五	三春町	眞照寺	○	同	同	同	同	同	同	同
廿一	堂島村	東光寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	寶坂村	光明寺	同	同	同	同	同	同	同	同
廿五	堂島村	寶珠寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	長福寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	飯谷村	安穩寺	同	同	同	同	同	同	同	同

▲福島縣岩代宗務支所下

同	廣瀨村	立川寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	筭川村	遍照寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	日橋村	太念寺	同	同	同	同	同	同	同	同
同	勝常村	長龍寺	同	同	同	同	同	同	同	同

▲福島縣杵衝宗務支所下

同	牧本村	圓福寺	同	廿一	廣月村	吉祥院
同	鏡石村	光明寺	同	同	同	同
同	白江村	白山寺	同	同	同	同
同	白方村	長命寺	同	同	同	同
同	長沼村	歎善寺	同	同	同	同
○	白川町	圓養院	同	同	同	同























十	岩澤村	中魚沼郡	不動寺	十三	川李村	圓福寺	十七	眞人村	般若寺
同	川李村	古志郡	來迎寺	十四	村松村	圓融寺	十五	東山村	圓柳寺
同	富曾龜村	中頭城郡	西福寺	十八	北谷村	椿澤寺			
廿三	高田町	寶藏寺							

▲新瀉縣佐度西部宗務支所下

三	眞野村	佐渡郡	國分寺	十二	同	眞樂寺	同	畑野村	玉林寺
同	二宮村		長福寺	十三	金澤村	正覺坊	同	同	太慶寺
同	加茂村		極樂寺	同	金澤村	寶藏坊	同	新穰村	善光寺
十四	畑野村		眞通寺	同	眞野村	神宮寺	同	金澤村	多聞寺
同	高千村		眞禪坊	同	眞野村	西報寺	同	眞野村	世尊院
同	金泉村		多聞院	十六	新穰村	三諦坊	同	眞野村	隆昌院
同	二宮村		圓滿坊	同	二宮村	胎藏寺	同	眞野村	乘光坊
同	相川町		福泉寺	同	吉井村	蓮花院	同	眞野村	長國寺
十九	野田村		青柳寺	同	新穰村	萬福寺	同	眞野村	田中坊
同	高千村		正福寺	同	吉井町	吉祥寺	同	眞野村	彌勒寺
同	新穰村		圓滿坊	廿一	金泉村	光輪寺	同	眞野村	世尊院
廿二	眞野村		眞野村	同	金泉村	極樂寺	同	眞野村	萬福寺
廿五	眞野村		眞野村	同	金泉村	金剛寺	同	眞野村	普賢寺

▲新瀉縣佐渡南海宗務支所下

七	羽茂本郷村	佐渡郡	弘仁寺	八	小木町	蓮花峰寺	十四	赤泊村	禪長寺
十六	千手村		地藏院	同	小布施村	智光坊	同	戀ヶ浦村	大光寺
十七	高千村		地藏寺	同	同	藥泉寺	同	同	清水寺
同	羽茂本郷村		儀藏寺	同	小木町	阿彌陀院	十八	龜ヶ背村	香傳坊
同	赤泊村		延命院	同	龜ヶ背村	圓照寺	同	千手村	宮本坊
同	小布勢村		醫王寺	十九	三川村	林光坊	同	外海府村	重泉寺

總本山京都市下京區東瓦町 智積院

智山派宗典終



明治三十九年七月卅一日印刷  
明治三十九年八月五日發行

定價郵稅共金六十錢

編輯者

安東信慧  
東京市芝區愛宕町一、四寄留

發行者

安東信慧  
東京市芝區愛宕町一、四寄留

印刷者

宮井鐘次郎  
東京市小石川區江戸川町十四

印刷所

大日本慈善協會活版部  
東京市小石川區江戸川町十四

發行所

智嶺新報社  
東京市芝區愛宕町一、四



385  
3

正誤

六頁 一六行 會ハ議  
 三〇頁 初行 ノハシ  
 四四頁 六行 裕ハ拾  
 五三頁 二行 郡ハ都  
 五六頁 表中 十六ハ等  
 七一頁 八行 本寺ノ得ハ連署ヲノ下ニ入  
 七四頁 初行 七十二ノ下條ヲ脱ス  
 七八頁 二行 宗事ノ下ニテ脱ス  
 八七頁 一六行 會ノ下部ヲ削支ノ下都ヲ加  
 一〇四頁 一四行 第一條ハ様  
 一〇七頁 七行 宗務ハ學  
 一〇九頁 初行 昇任ニハハ  
 一一〇頁 一三行 委員ノ下長ヲ脱ス  
 一一三頁 一行 委員ノ下長ヲ脱ス  
 一一三頁 一行 奉願ハ願  
 一三四頁 三行 補命モハセ  
 一三八頁 五行 六百ハ六拾  
 一三八頁 一行 以下第六七八項削除  
 一三八頁 一六行 金貳ハ七

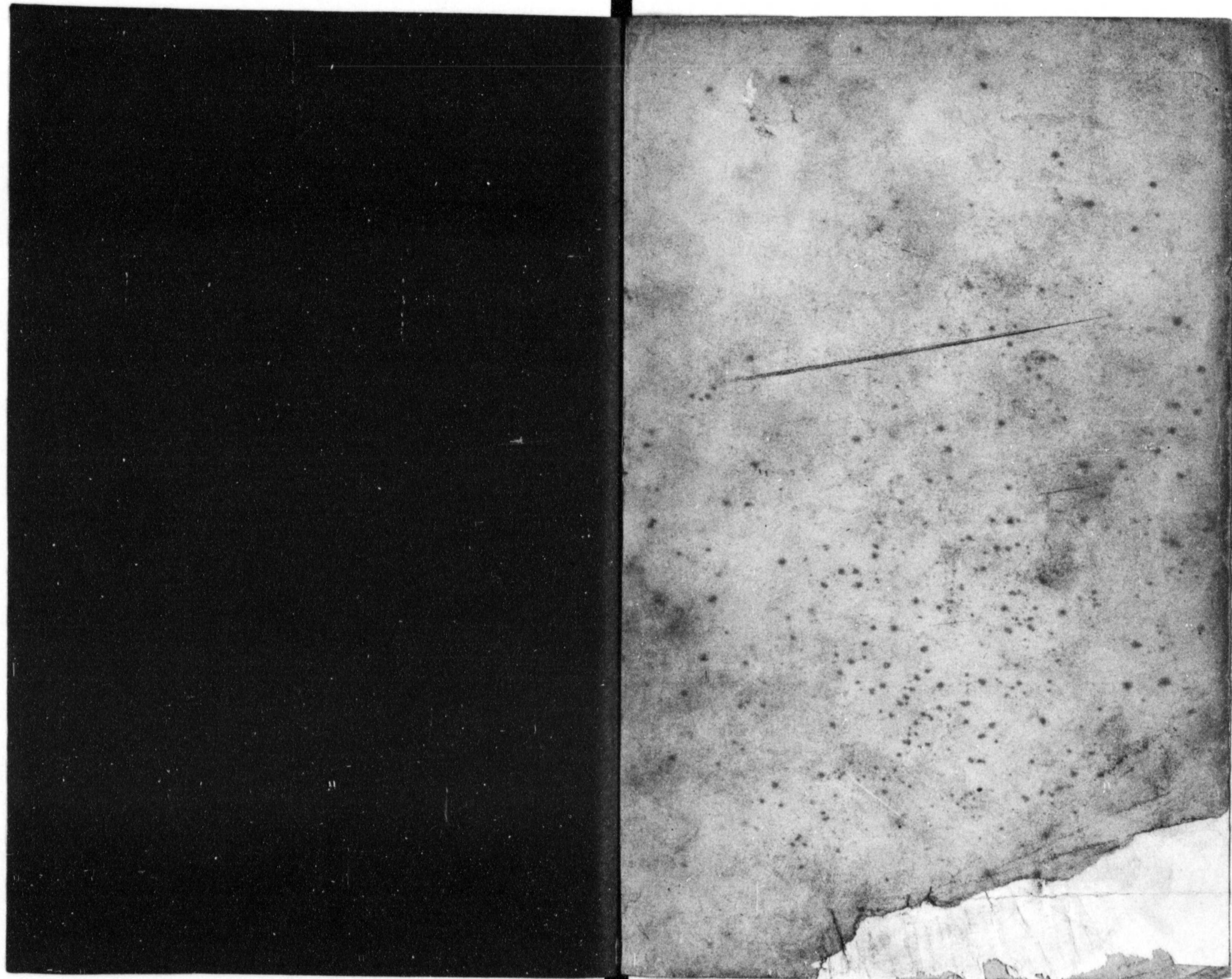
一三九頁 四行 錢一ハ七  
 一四一頁 一六行 免ハ免  
 一四二頁 二行 帥ハ帥  
 一四四頁 六行 稱號ハ僧階  
 一五一頁 二行 ヨルハヨリ  
 一五三頁 七行 筒ハ筒  
 一五五頁 九行 十四ハ十六  
 一六一頁 四行 及ハ長  
 一六一頁 五行 長ハ席  
 一七一頁 七行 席ハ者  
 一七二頁 一行 員ハ長  
 一七八頁 二行 証ハ認  
 一七九頁 五行 輸ハ論  
 一八八頁 二行 六ハ七  
 一八八頁 一行 七ハ八  
 一八九頁 一行 八ハ九  
 一九〇頁 初行 九ハ十  
 一九〇頁 一行 十ハ下  
 一九一頁 八行 盲ハ育

三十八年九月廿一日

東京市...

...

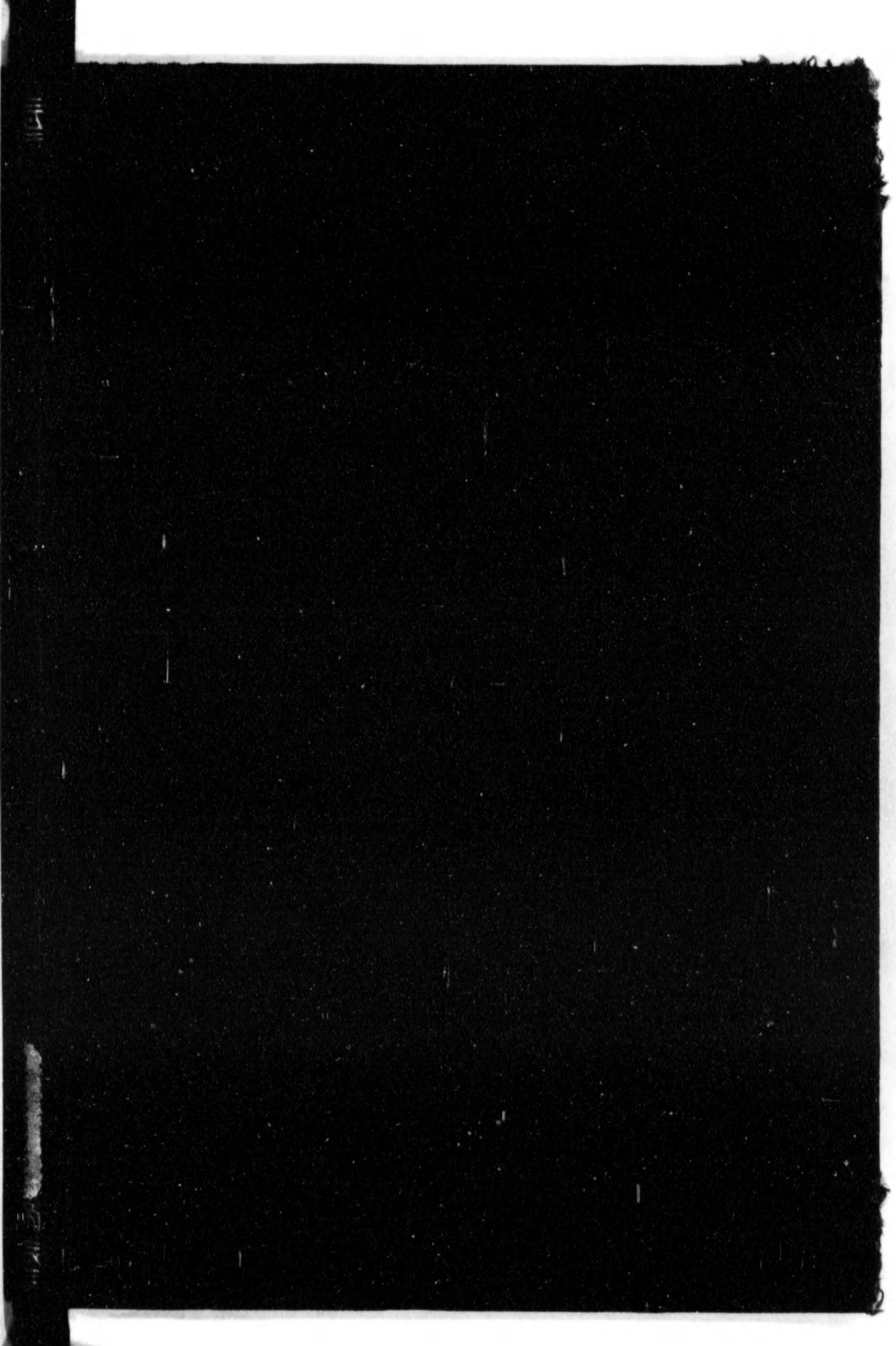






325  
3







325  
3

017045-000-1

325-3

新義真言宗智山派宗典

安東 信慧/編

M39.8

ABE-0325





2.10.27